

平成 19 年度 天気予報に関する満足度調査 調査結果

平成 2 0 年 3 月
気 象 庁

- 目 次 -

調査の背景と目的	1
調査概要	1
主な結果	4
天気予報の改善について	8
調査結果	9
天気予報全般について	9
（信頼度、満足度）	
今日・明日・明後日の天気予報について	1 1
（利用度、入手媒体、重視度、満足度、不満に感じること）---	1 1
（放送局や新聞による予報の相違の認知度）	1 8
（予報を発表した気象会社名通知の希望）	1 8
時系列予報について	1 9
（利用度、重視度、満足度、不満に感じること）	
天気分布予報について	2 4
（利用度、重視度、満足度、不満に感じること）	
週間天気予報について	2 9
（利用度、重視度、満足度、不満に感じること）	
季節予報について	3 5
（利用度、重視度、満足度、不満に感じること）	
黄砂情報について	4 1
（利用度、利用目的、満足度、不満に感じること）	
紫外線情報について	4 5
（利用度、利用目的、満足度、不満に感じること）	

．調査の背景及び目的

気象庁では、気象業務に対する意識やニーズ等を把握し、業務の改善方向を探るとともに、業務改善の成果を把握するため、気象情報の利用者の評価（重視度、満足度及びニーズ等）を測定・把握している。

平成 19 年度は、平成 14 年度、平成 17 年度に引き続き、国民生活において広く利用されている天気予報、季節予報、黄砂情報及び紫外線情報について調査を行った。

．調査概要

1. 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した人にアンケート調査票を送付し、任意に回答いただく手法（以下、「郵送調査」という。）及び気象庁ホームページにアンケート画面を設け、閲覧者に任意に回答していただく手法（以下、「WEB 調査」という。）を用いた。なお、平成 14 年度調査、平成 17 年度調査との違いは以下のとおりである。

郵送調査	今回調査	平成 17 年度調査	平成 14 年度調査
調査対象	小樽市、弘前市、市原市、熊谷市、新潟市（中央区）、豊橋市、東大阪市、北九州市（八幡西区）、那覇市に居住する 20 歳以上の住民	小樽市、青森市、千葉市、熊谷市、新潟市、豊橋市、堺市、福岡市、那覇市に居住する 20 歳以上の住民	小樽市、青森市、新潟市、前橋市、豊橋市、和歌山市、松江市、松山市、久留米市、鹿児島市、那覇市と東京都の江東区・杉並区、府中市に居住する 18 歳～69 歳の住民
対象者数	4,500 人 （9 都市の各 500 人）	4,500 人 （9 都市の各 500 人）	2,800 人 （14 都市の各 200 人）
回答者数 （回収率）	1,587 人（35.3%）	1,618 人（36.0%）	1,309 人（46.8%）
調査期間	平成 19 年 12 月 3 日 ～ 12 月 14 日 （以降到着分も可能な限り集計した）	平成 17 年 12 月 9 日 ～ 12 月 22 日 （以降到着分も可能な限り集計した）	平成 15 年 1 月 17 日 ～ 2 月 5 日 （以降到着分も可能な限り集計した）

WEB 調査	今回調査	平成 17 年度調査	平成 14 年度調査
調査対象	右に同じ	右に同じ	気象庁、各管区・沖縄気象台ホームページからアンケート画面にアクセスした人
回答者数	1,963 人	2,169 人	656 人
調査期間	平成 19 年 12 月 3 日 ～ 12 月 17 日	平成 17 年 12 月 8 日 ～ 12 月 26 日	平成 15 年 1 月 22 日 ～ 2 月 6 日

2. 調査対象者（アンケート協力者）の属性

アンケートでは、性別、年齢、職業、居住地、パソコンでのインターネット利用状況の5項目について答えていただいた。

平成14年度調査、平成17年度調査と比較して、性別、年齢及びインターネット利用状況については、傾向に大きな変化はみられなかった。

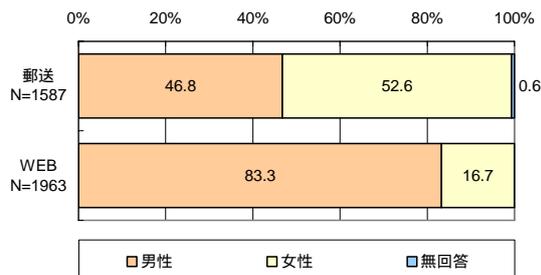
郵送調査

性別は男女が半々である。年齢は多い順に「60歳代」「50歳代」「40歳代」となっており、前2回の調査と比較すると60歳以上の割合が増加している（前々回は19.6%、前回は30.8%）。居住地をみると、9つの市・区から、満遍なく回答がある。職業は多い順に「専業主婦」「無職」「技術・技能職」となっている。なお、パソコンでインターネットを利用している人は約半数である。

WEB調査

性別は、男性が8割強を占め圧倒的に多い。年齢は多い順に「30歳代」「40歳代」「20歳代」となっている。居住地をみると、関東甲信越地方からの回答が多く、また、前回調査（34.5%）よりもその割合が増加している。職業は多い順に「技術・技能職」「事務職」「学生」となっている。

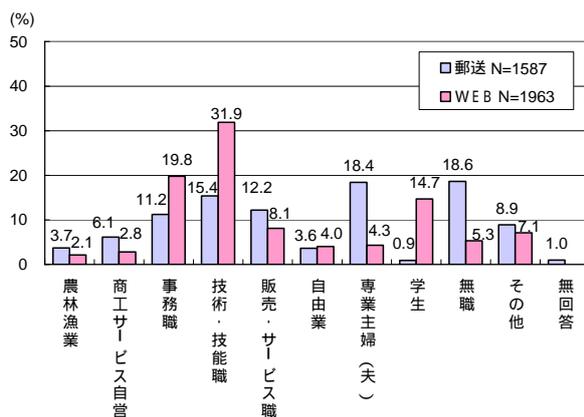
(1) 性別



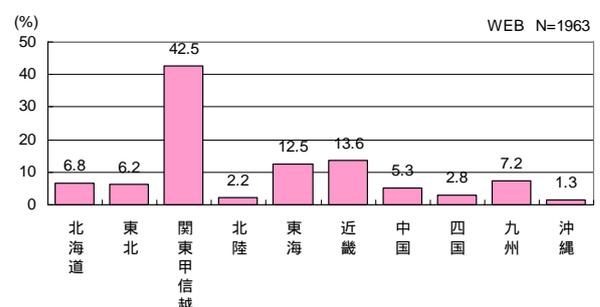
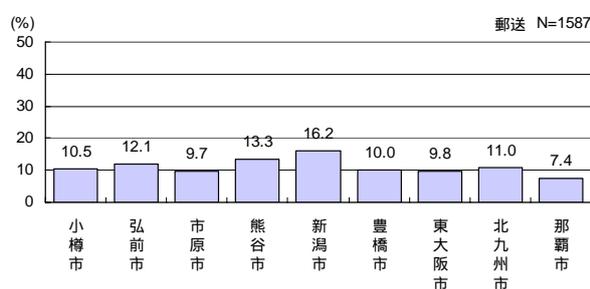
(2) 年齢



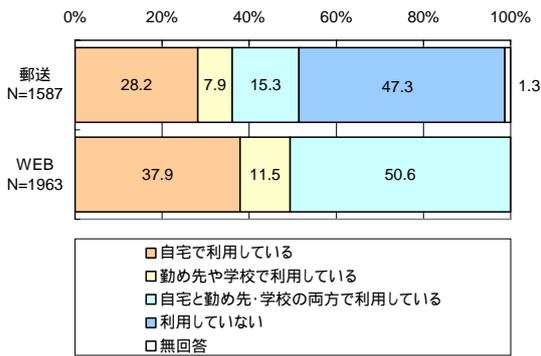
(3) 職業



(4) 居住地



(5) パソコンでのインターネット利用



3. 集計・分析結果の記述について

天気予報全般、今日・明日・明後日の天気予報、時系列予報、天気分布予報、週間天気予報、季節予報、黄砂情報、紫外線情報についての認知度、利用度、利用目的、重視度、満足度についての調査結果を記述した（各予報・情報によって調査項目は異なる）。

分析・集計結果で用いる用語の説明

- 認知度 :
知っているかどうかについて「知っている」「知らない」の2択で聞いている。
- 利用度 :
どの程度利用しているのかについて「よく利用する」「時々利用する」「利用しない」の3択で聞いている。
- 重視度 :
利用していて、どの程度重視しているのかについて「重視する」「やや重視する」「あまり重視しない」「重視しない」の4択で聞いている。
- 満足度 :
利用していて、どの程度満足しているのかについて「満足」「まあ満足」「やや不満足」「不満足」の4択で聞いている。
- 信頼度 :
どの程度信頼しているのかについて「信頼している」「まあ信頼している」「あまり信頼していない」「信頼していない」の4択で聞いている。
- 評価点 :
重視度、満足度、信頼度については100点満点で測るために、「重視する（満足、信頼している）」「やや重視する（まあ満足、やや信頼している）」「あまり重視しない（やや不満足、あまり信用していない）」「重視しない（不満足、信頼していない）」のそれぞれの回答に100、67、33、0点の重み点を与えて、全体を平均した値である。なお、評価点の「高い」「低い」をコメントする場合は、以下の基準を用いた。

100～80点	非常に高い	33～21点	低い
79～67点	高い	20～0点	非常に低い

- N :
有効回答数のことである。

．主な結果

【天気予報全般に対する満足度、信頼度】

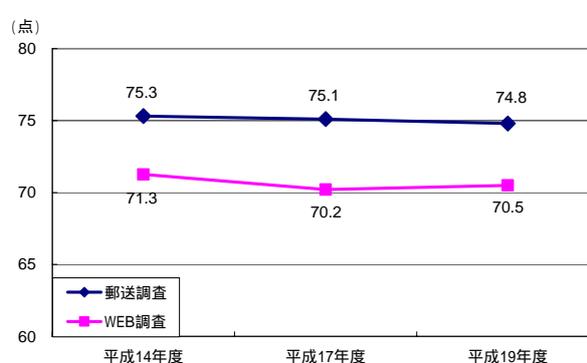
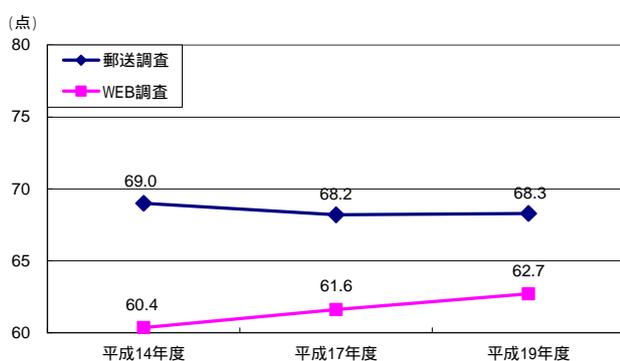
天気予報全般に対する満足度は高く、「満足」「まあ満足」の合計も郵送調査で 88.2%、WEB 調査で 78.5%に達した。また、信頼度も郵送・WEB 調査ともに高く、「信頼している」「まあ信頼している」の合計が郵送調査では 9 割を超えた(WEB 調査ではその合計は 89.8%)。これらの傾向は、過去 2 回の調査とほぼ変わらない。

天気予報全体に対する満足度評価点

年度	郵送調査	WEB調査
平成19年度	68.3	62.7
平成17年度	68.2	61.6
平成14年度	69.0	60.4

天気予報全般に対する信頼度評価点

年度	郵送調査	WEB調査
平成19年度	74.8	70.5
平成17年度	75.1	70.2
平成14年度	75.3	71.3



【予報の利用度】

「よく利用する」「時々利用する」の合計(利用計)でみた場合、郵送調査では、「週間予報」「今日・明日・明後日の天気予報」「時系列予報」などが高かった。WEB 調査でも、「今日・明日・明後日の予報」「週間予報」「時系列予報」などが高い。

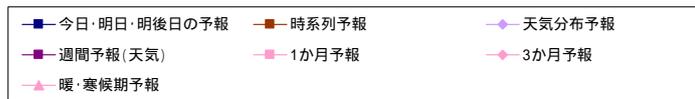
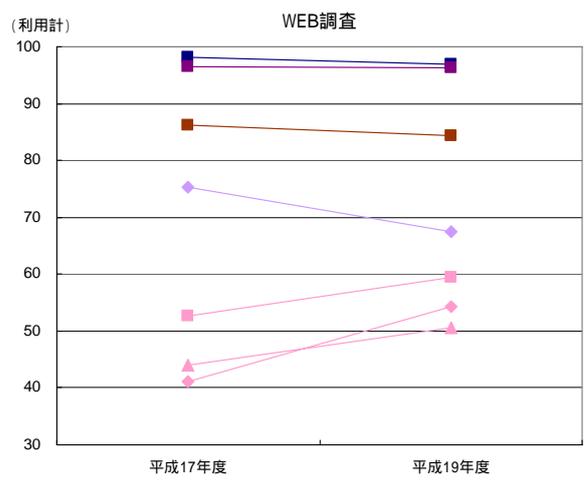
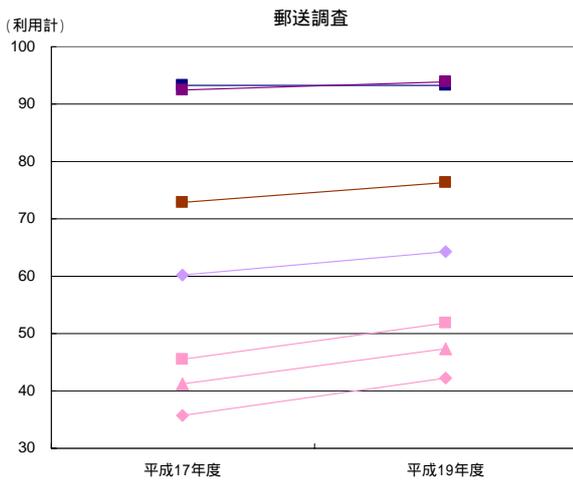
経年で比較すると、郵送調査ではいずれの予報も、利用計が上昇している。WEB 調査では、「天気分布予報」で利用計が大きく下降しているが、その他の予報については上昇、または横ばいである。

郵送調査

予報の種類	利用計(%)
週間予報	93.9
今日・明日・明後日の予報	93.3
時系列予報	76.4
天気分布予報	64.3
1か月予報	51.8
暖・寒候期予報	47.3
3か月予報	42.2

WEB調査

予報の種類	利用計(%)
今日・明日・明後日の予報	97.0
週間予報	96.3
時系列予報	84.3
天気分布予報	67.5
1か月予報	59.5
3か月予報	54.2
暖・寒候期予報	50.5



【各予報の重視度と満足度】

はじめに、各予報の重視度と満足度の評価点を下表に示す。

各予報の重視度・満足度評価点 (郵送調査)

予報の種類	重視度	満足度
今日・明日・明後日の予報 (天気)	89.5	70.5
週間予報 (天気)	87.4	66.8
今日・明日・明後日の予報 (降水確率)	83.8	65.3
週間予報 (降水確率)	81.5	63.5
今日・明日・明後日の予報 (気温)	76.5	73.6
週間予報 (気温)	74.7	69.1
時系列予報	72.7	66.3
天気分布予報	68.3	67.2
1か月予報	62.7	63.8
暖・寒候期予報	58.3	58.9
週間予報 (信頼度情報)	57.1	59.0
今日・明日・明後日の予報 (風向・風速)	49.0	67.7
3か月予報	48.6	57.5
今日・明日・明後日の予報 (波浪)	25.9	67.7

各予報の重視度・満足度評価点 (WEB調査)

予報の種類	重視度	満足度
今日・明日・明後日の予報 (天気)	89.7	66.0
週間予報 (天気)	87.4	60.9
今日・明日・明後日の予報 (降水確率)	79.0	57.5
今日・明日・明後日の予報 (気温)	76.8	68.3
週間予報 (気温)	75.0	62.2
時系列予報	73.0	59.8
週間予報 (降水確率)	72.9	54.6
天気分布予報	67.6	58.6
1か月予報	59.3	56.6
週間予報 (信頼度情報)	57.7	49.5
3か月予報	48.0	49.8
今日・明日・明後日の予報 (風向・風速)	46.1	63.9
暖・寒候期予報	45.2	48.1
今日・明日・明後日の予報 (波浪)	21.7	65.6

以下、予報ごとに結果をまとめる。

今日・明日・明後日の天気予報

「天気」と「降水確率」の予報の重視度は、郵送調査・WEB調査に共通して、評価点が79～90点と非常に高いが、「風向・風速」では40点台、「波浪」では20点台に止まり、重視している人が限られている。「天気」「降水確率」の予報は重視度が非常に高いものの、満足度では、「まあ満足」との回答がほとんどである。特に、「降水確率」はその傾向が強い。以上の傾向は、過去2回の調査とほぼ同様の傾向にある。また、「風向・風速」については、東に位置する都市ほど「重視する」「やや重視する」の合計が高い傾向にある。「波浪」については、内陸に位置する熊谷市と東大阪市で「重視する」「やや重視する」の合計が低く、関心が小さい。

風向・風速の「重視する」「やや重視する」合計 (都市別)

小樽市 (53.5%)、市原市 (52.7%)、熊谷市 (52.0%)、新潟市 (48.1%)、弘前市 (45.5%)、那覇市 (37.8%)、豊橋市 (35.7%)、北九州市 (34.7%)、東大阪市 (25.7%)

波浪の「重視する」「やや重視する」合計 (都市別)

小樽市 (32.4%)、那覇市 (25.2%)、新潟市 (22.1%)、市原市 (17.8%)、豊橋市 (15.2%)、北九州市 (14.6%)、弘前市 (13.1%)、東大阪市 (10.0%)、熊谷市 (5.6%)

「不満に感じることは、郵送調査・WEB調査ともに、「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「予報内容が変わることがある」となっている。

時系列予報

重視度は、郵送調査・WEB調査に共通して、評価点が70点を超え高いものの、満足度の評価点では郵送調査で66点、WEB調査で60点であった。この傾向は、前回調査とほぼ同様である。

「不満に感じることは、郵送調査では「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「予報内容が変わることがある」となっている。WEB調査では「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「必要な地域の予報が出ない」となっている。

天気分布予報

重視度は、郵送調査・WEB調査に共通して、評価点が67点を上回り高いものの、満足度の評価点は郵送調査で67点、WEB調査で59点であった。この傾向は、前回調査とほぼ同様である。

「不満に感じることは、郵送調査では「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「予報内容が変わることがある」となっている。WEB調査では「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「内容が詳しくない」となっている。

週間予報

「天気」「最高・最低気温」「降水確率」の予報の重視度は、郵送調査・WEB調査に共通して、評価点が74～87点と高い又は非常に高い。一方、「信頼度情報」は50点台に止まり、重視している人が限られている。満足度の評価点は郵送調査で59～69点、WEB調査で50～62点であった。この傾向は前回調査とほぼ同様である。

「不満に感じることは、郵送調査・WEB調査ともに「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「予報内容が変わることがある」となっている。

季節予報（1か月、3か月、暖・寒候期予報）

「1か月予報」「3か月予報」「暖・寒候期予報」の重視度は、いずれも評価点がそれほど高くなく、重視している人は限られている。満足度についても、「満足」「まあ満足」の合計が他の予報に比べて低く重視度同様評価点はそれほど高くない。

「不満に感じることは、郵送調査では「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「予報内容が変わることがある」となっている。WEB調査では「予報が外れることがある」との回答が最も高く、次いで「気温等具体的な数値が予報されず、三段階の予報では使いにくい」となっている。

【黄砂情報】

「利用しない」との回答が郵送調査、WEB調査ともに過半数を占め、利用度は低い。利用しない理由をみると、「利用する必要がないので」「存在を知らなかったので」「興味がないので」といった回答が大半を占める。

「利用目的」は、郵送調査では「洗濯物を干すため」「洗車・洗浄・清掃のため」が圧倒的だが、「病気対策、健康維持のため」も多い。WEB調査では、「黄砂の有無を確認するため」が最も高い。

満足度の評価点は郵送調査で66.7点、WEB調査で68.4点であった。「満足」「まあ満足」の合計は郵送調査で8割強、WEB調査で9割弱に達したが、「まあ満足」との回答が7割程度を占め積極的な評価は少なく、この傾向は過去2回の調査とほぼ同様である。

「不満に感じることは、郵送調査では「必要とする地域の情報が出ない」との回答が、WEB調査では「予測期間（翌日）が短い」との回答が最も高い。

【紫外線情報】

「利用する」「時々利用する」の合計が、郵送調査で6割強、WEB調査で4割強と、利用度に差が出た。

「利用目的」は、郵送調査・WEB調査ともに、日焼け対策が主である。

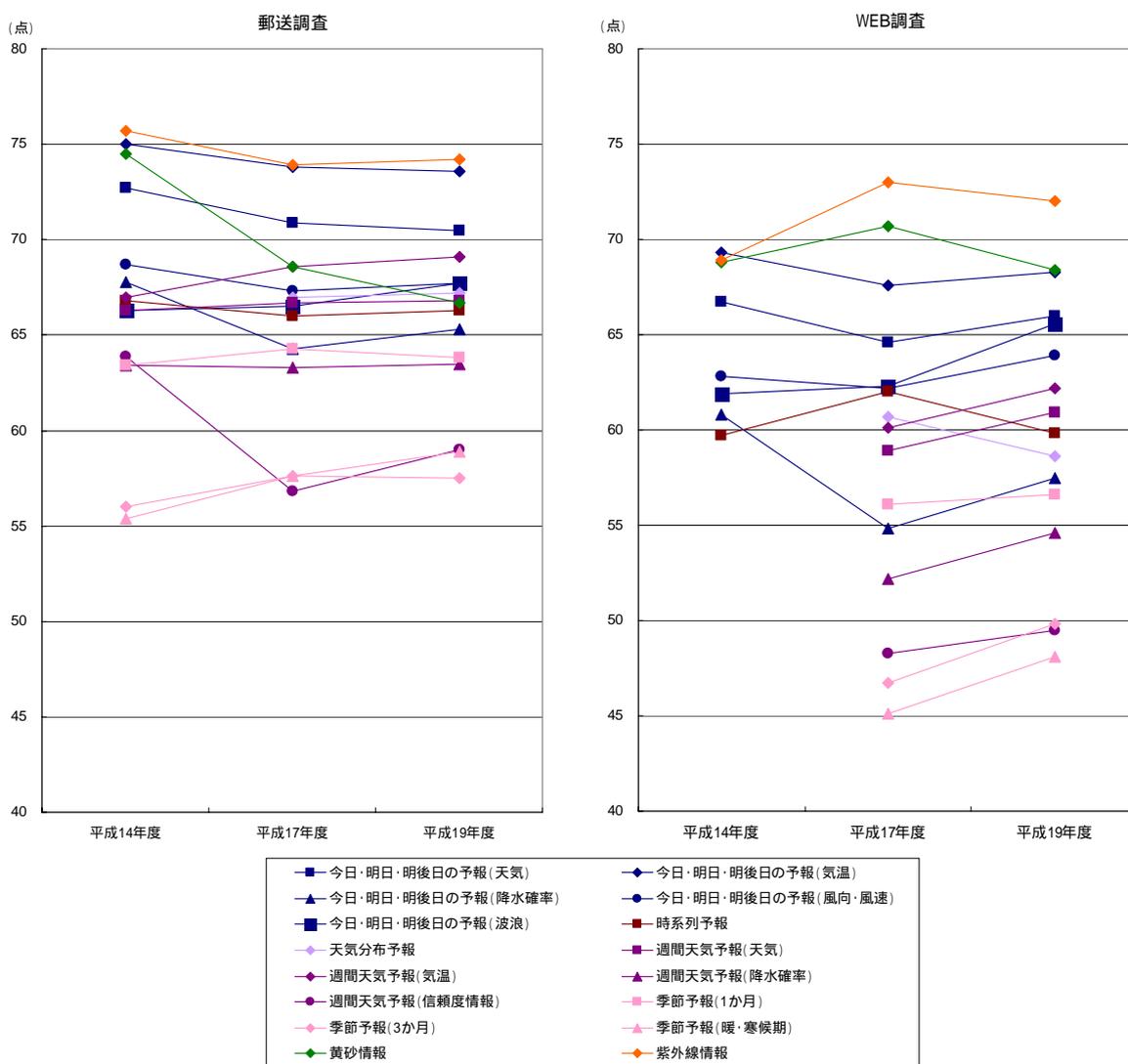
満足度については、「満足」「まあ満足」の合計は郵送調査・WEB調査ともに9割以上を占めた。評価点もそれぞれ70点以上で、満足度は高いといえる。この傾向は過去2回の調査とほぼ同様である。

「不満に感じること」は、郵送調査では「必要とする地域の情報が出ない」との回答が、WEB調査では「予測期間(翌日)が短い」との回答が最も高い。

【各予報及び情報の満足度の推移】

満足度評価点の推移を以下に示す。

郵送調査については、週間予報(信頼度情報)や黄砂情報など、満足度が大きく下降している項目もあるが、全体的にみると3回の調査の満足度は大きく変わらない。また、WEB調査についても、紫外線情報で上昇、今日・明日・明後日の予報(降水確率)で下降がみられるが、全体的には大きな変化はみられない。また、郵送調査に比べ、WEB調査では満足度が低めで、各予報及び情報により評価のばらつきが大きい。



週間天気予報(天気・気温・降水確率・信頼度情報)、季節予報(1か月・3か月、暖・寒候期)、黄砂情報についての質問は、平成14年度のWEB調査では行っていない。

・ 天気予報の改善について

利用度、重視度をみてもわかるように、天気予報は国民の日々の生活に欠かせないものである。また、満足度についてみると、満足層である「満足」「まあ満足」の合計の割合は、いずれの予報・情報でも不満層である「不満足」「やや不満足」の合計を大きく上回っており、評価点からみても利用者は天気予報に対しておおむね満足していることがわかる。

しかし、満足層の中身を見ると、いずれの予報・情報についても「満足」との回答よりも「まあ満足」との回答の割合が多い。天気予報に対する評価を上げるためには、不満層はもちろんのこと、回答者の大部分を占める満足層からの不満を視野に入れ改善に努める必要がある。

各予報（今日・明日・明後日の天気予報、時系列予報、天気分布予報、週間天気予報、季節予報）における不満を感じる項目については、郵送調査・WEB調査とも、「予報が外れること」がすべての予報に共通して高く、その割合は4割から6割を占めた。

これを満足度別にみると、郵送調査の不満層では、「予報が外れること」の割合は郵送調査でおおむね7割から8割、WEB調査で6割から9割を占める。一方、「まあ満足」と回答した層でも、「予報が外れること」の割合は郵送調査で4割から6割、WEB調査で4割から5割台半ばとなった。

黄砂情報・紫外線情報については、どちらの情報も、郵送調査で「必要とする地域の情報が出ない」との回答が、WEB調査で「予測期間（翌日）が短い」との回答が高い。

以上から、満足度を上げるためには予報精度の向上が最も重要である。

調査結果

1. 天気予報全般について

(1) 天気予報全般についての信頼度

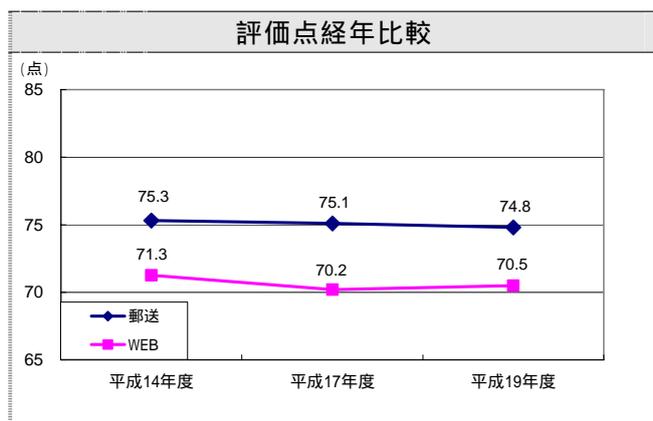
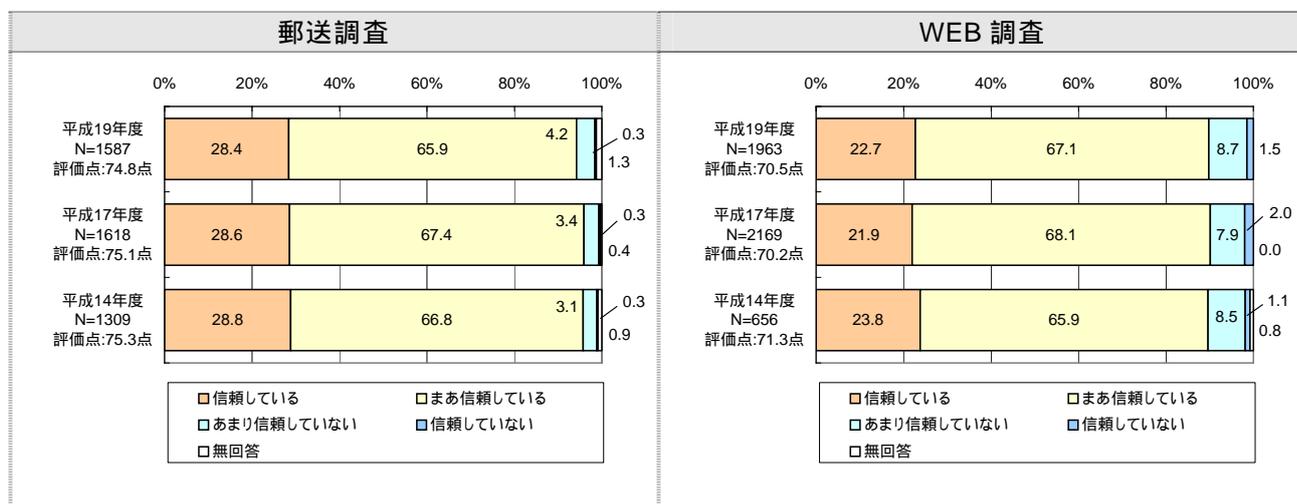
問 1-1. 天気予報の全般について、どの程度信頼していますか。

【郵送調査】

「信頼している」「まあ信頼している」の合計が 94.3%と大半を占めた。評価点も 74.8 点となっており、信頼度は高い。ただし、「まあ信頼している」との回答が最も高く 6 割台半ばを占めており、積極的な信頼層は少ない。評価点を経年で比較すると、大きな変化はみられない。

【WEB 調査】

郵送調査と同様信頼度（評価点：70.5 点）は高いが、「まあ信頼している」との回答が 6 割台半ばを占め、積極的な信頼層は少ない。評価点を経年で比較すると、大きな変化はみられない。



(2) 天気予報全般についての満足度

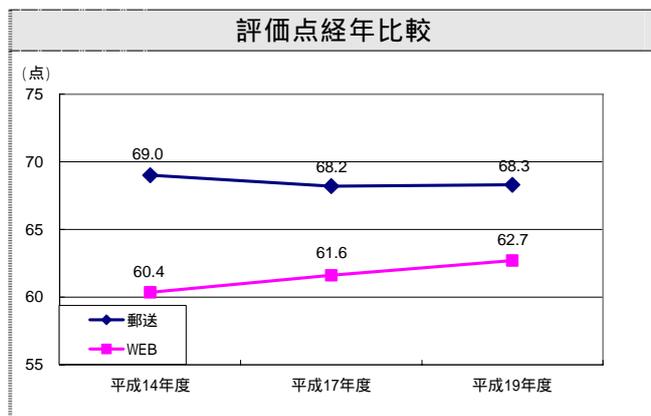
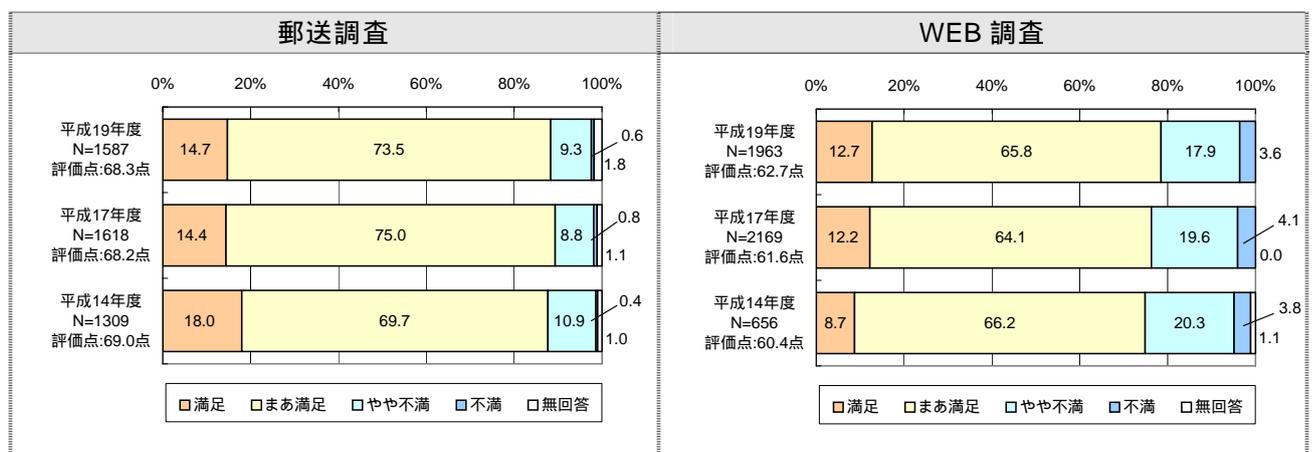
問 1-2 . 天気予報の全般について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」の合計（88.2%）が9割近くに達した。また、評価点も68.3点となっており、満足度は高い。ただし、「まあ満足」との回答が最も高く7割半ばを占めており、積極的な満足層は少ない。評価点を経年で比較すると、大きな変化はみられない。

【WEB調査】

郵送調査に比べると「不満足」「やや不満足」と答えた人が多く、評価点は62.7点であった。評価点を経年で比較すると上昇傾向にあり、平成14年度から2ポイント上昇している。



2. 今日・明日・明後日の天気予報について

(1) 利用度

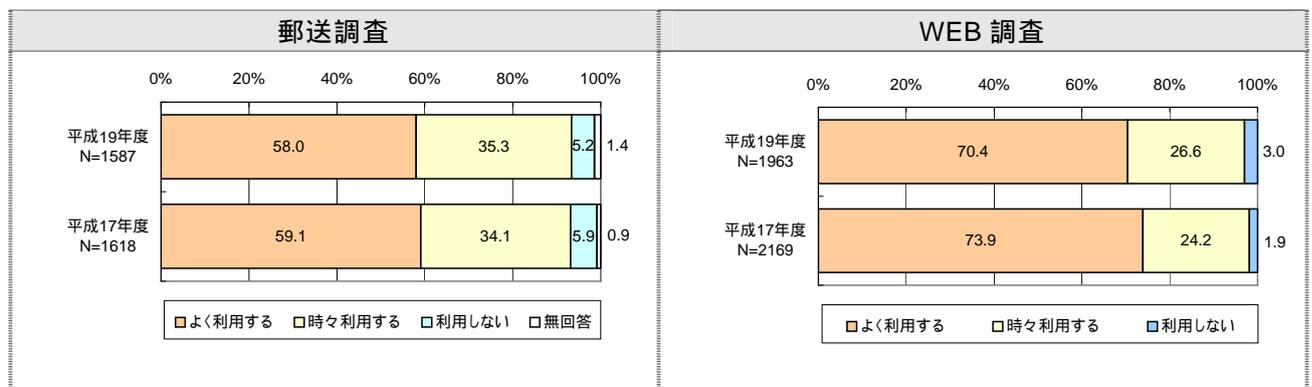
問 2-1. 今日・明日・明後日の天気予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「よく利用する」「時々利用する」の合計が 93.3%と大半を占めた。このうち「よく利用する」との回答（58.0%）は 6 割弱である。

【WEB 調査】

「よく利用する」「時々利用する」の合計が 97.0%と大半を占めた。このうち「よく利用する」との回答（70.4%）は 7 割を占め、郵送調査と比較して 10 ポイント以上高くなっている。



(2) 入手媒体（複数回答）

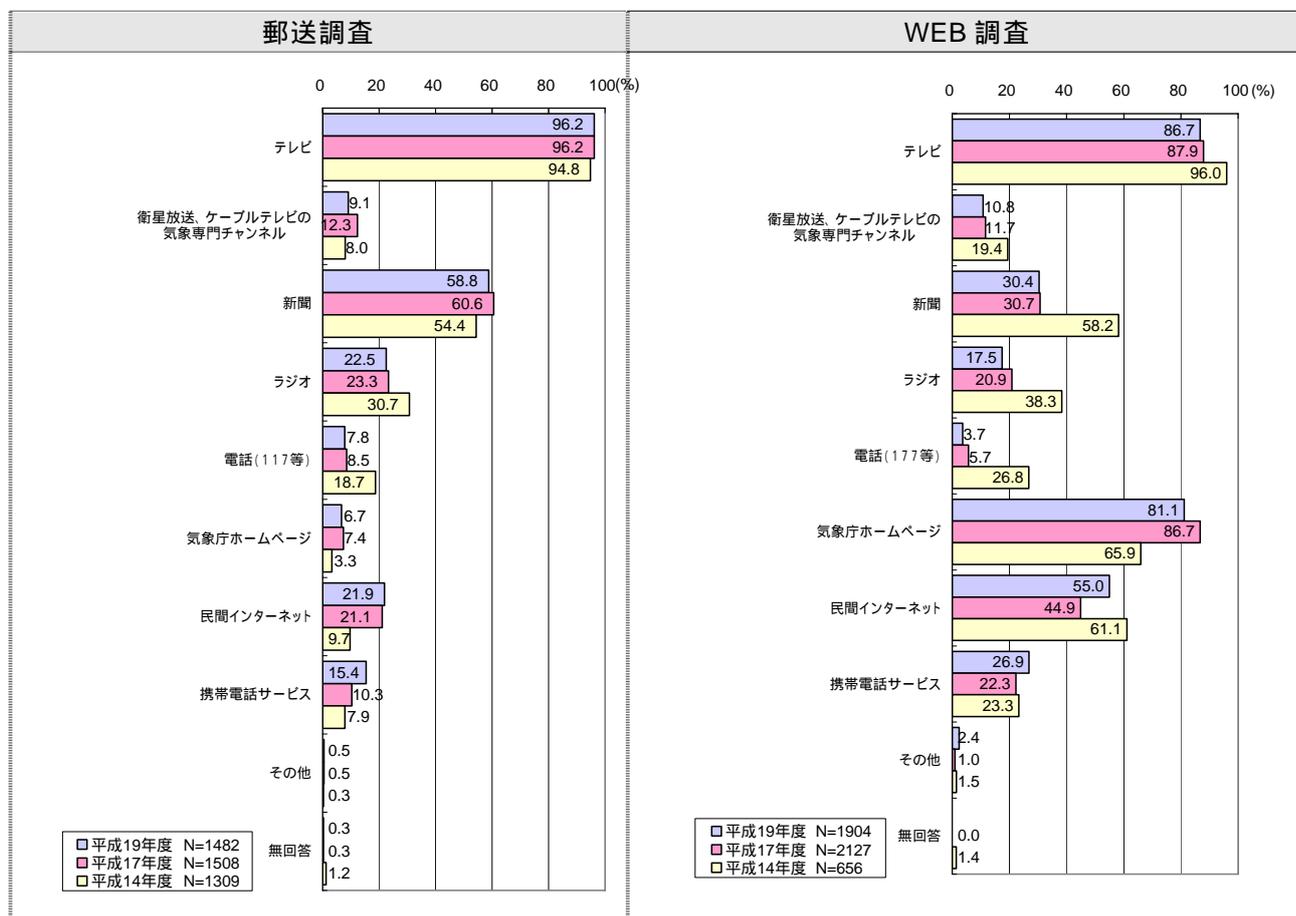
問 2-2 . 今日・明日・明後日の天気予報を何から見聞きしていますか。

【郵送調査】

「テレビ」との回答（96.2%）が最も高く、次いで「新聞」（58.8%）が6割弱であった。また、「民間インターネット」「携帯電話サービス」は過去2回の調査と比較して増加傾向にあり、「ラジオ」「電話（177等）」は減少傾向にある。

【WEB調査】

「テレビ」との回答（86.7%）が最も高く8割台半ばを占め、次いで「気象庁ホームページ」（81.1%）、「民間インターネット」（55.0%）の順であった。この傾向は、前回調査とほぼ同様である。なお、「気象庁ホームページ」との回答が前回調査、今回調査で8割台と高くなっている。他方、「テレビ」「新聞」「ラジオ」「電話（177）」などで減少傾向にある。



(3) 重視度

問 2-3-1. 今日・明日・明後日の天気予報の各内容について、どの程度重視していますか。

天気（晴、曇、雨など）の予報
雨や雪の降る確率（降水確率）の予報
波の高さ（波浪）の予報

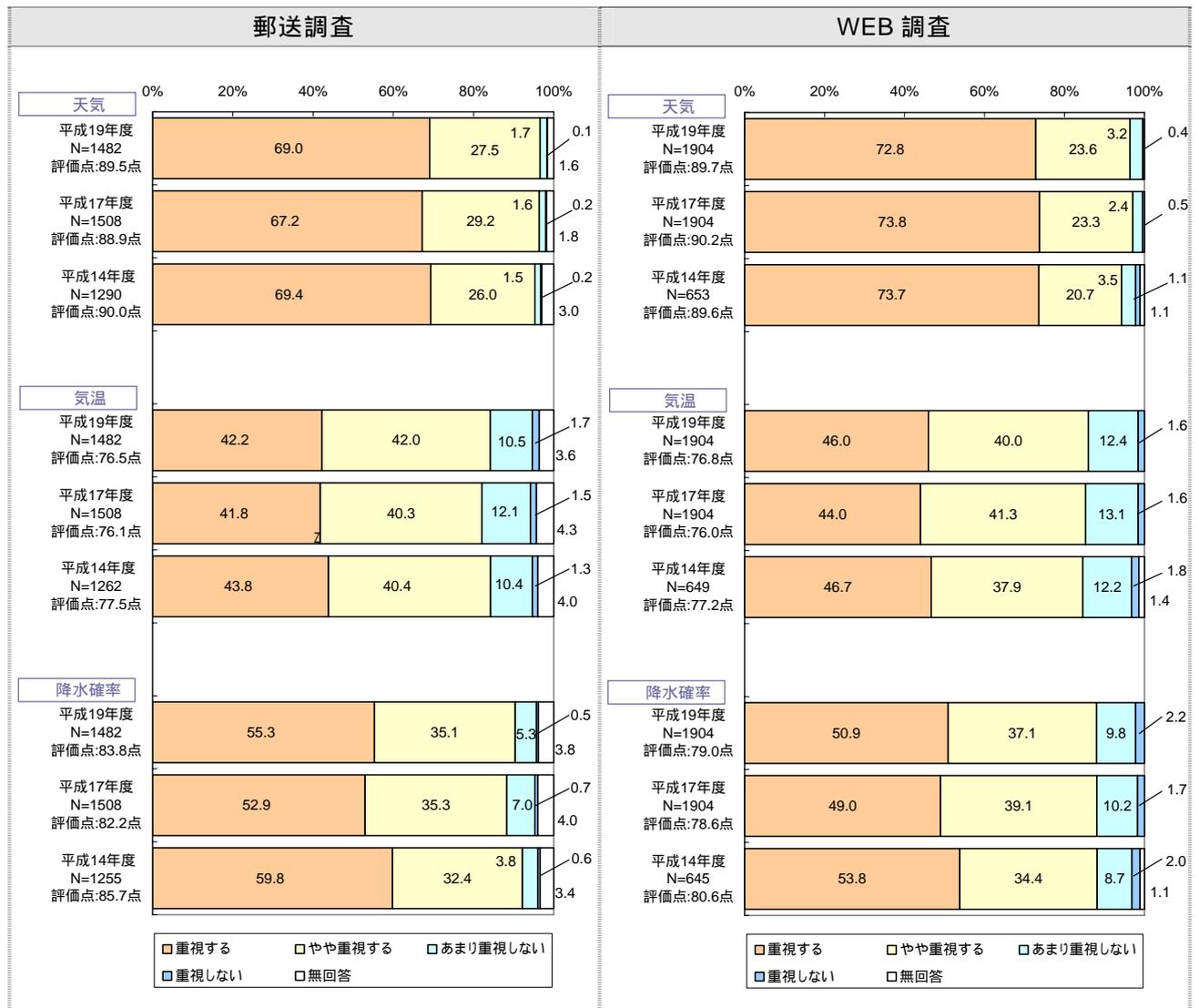
最高・最低気温の予報
風の強さと向き（風向・風速）の予報

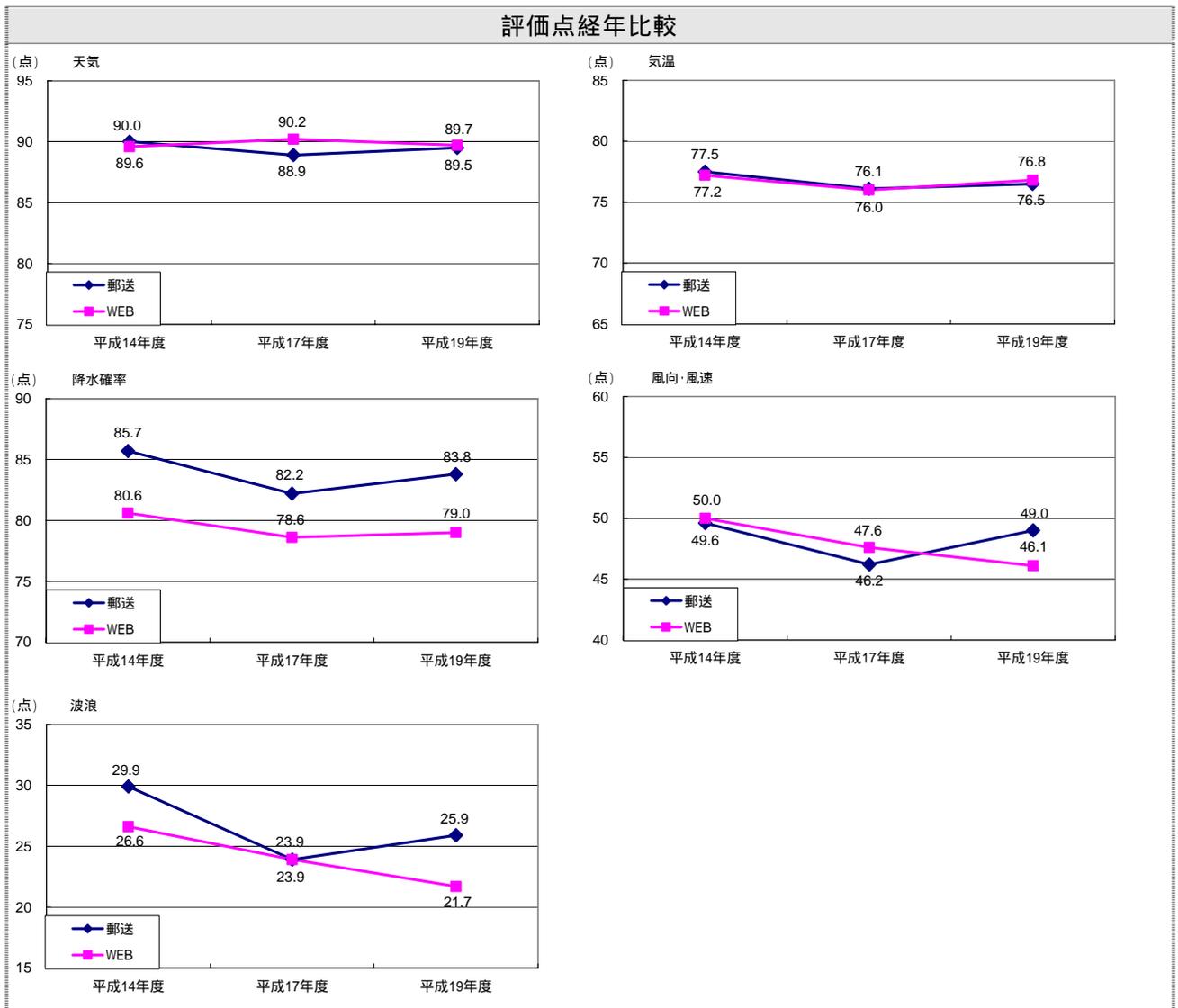
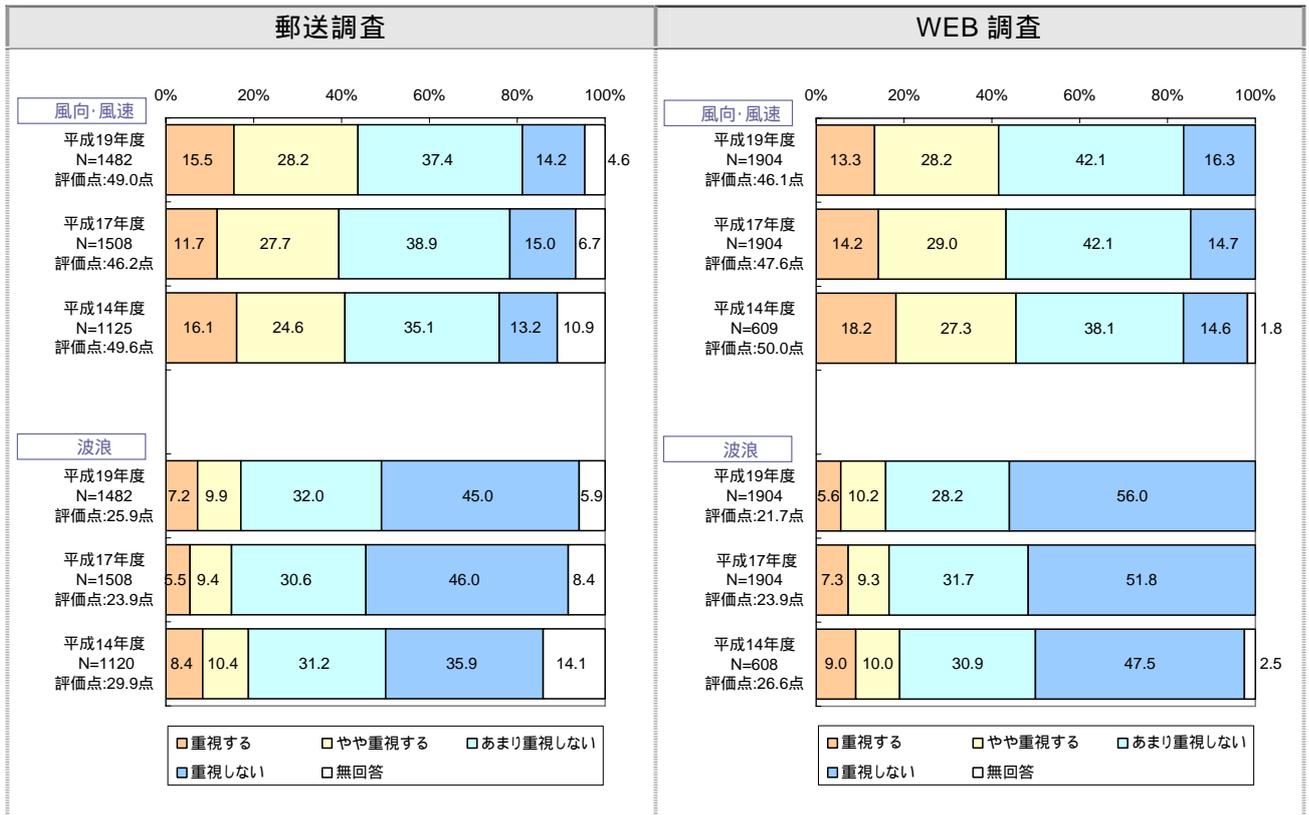
【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」の合計は、「天気」(96.5%)で9割台半ば、「降水確率」(90.4%)で9割強、「最高・最低気温」(84.2%)で8割台半ばに達した。「天気」と「降水確率」の評価点は80点台で、重視度は非常に高い。また、「最高・最低気温」も76.5点と重視されている。一方、「風向・風速」(43.7%)は4割台半ば、「波浪」(17.1%)は1割台半ばに止まり、重視している人が限られている。

【WEB調査】

郵送調査と同様の傾向がみられた。





(4) 満足度

問 2-3-2 . 今日・明日・明後日の天気予報の各内容について、どの程度満足していますか。

天気（晴、曇、雨など）の予報
雨や雪の降る確率（降水確率）の予報
波の高さ（波浪）の予報

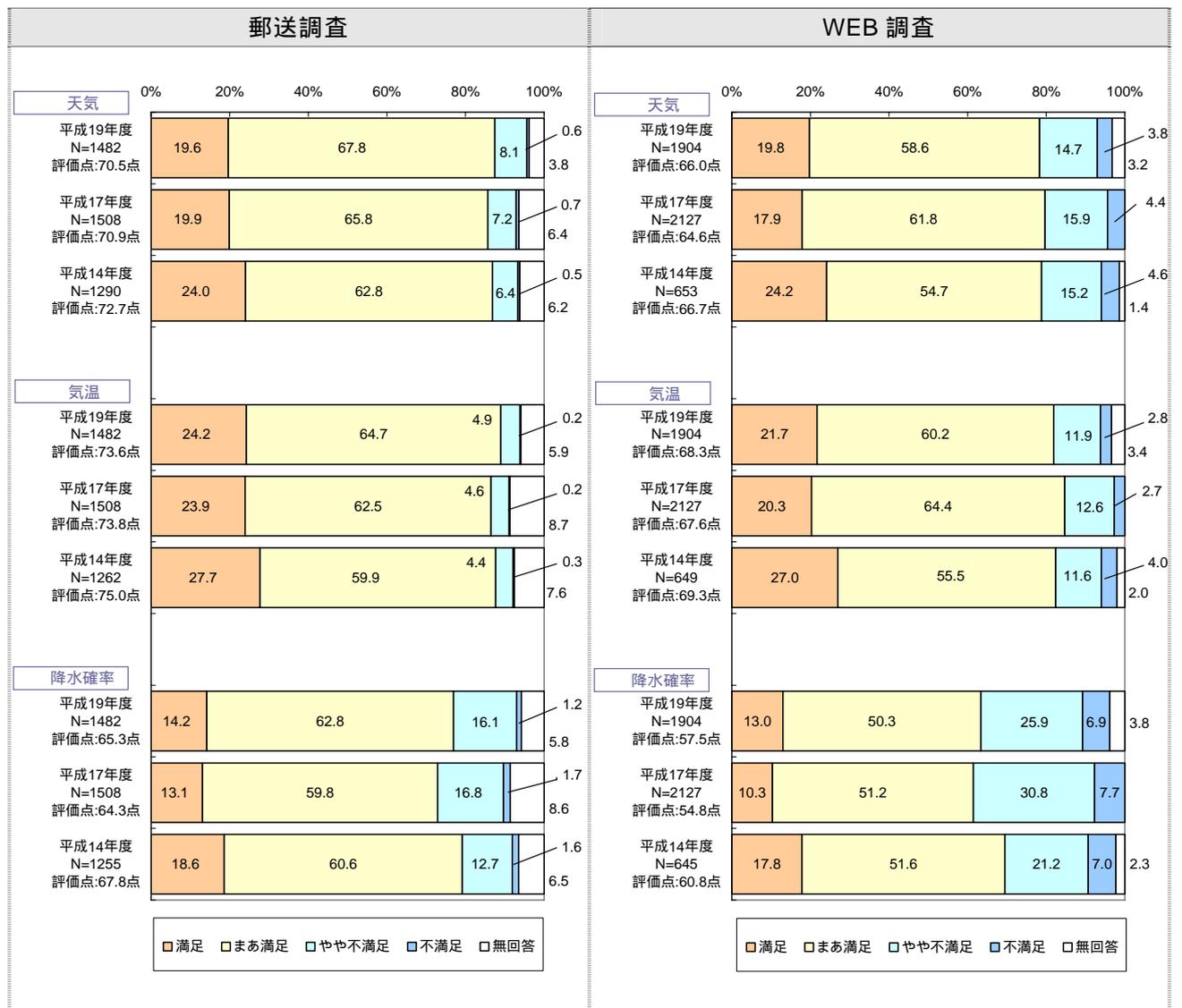
最高・最低気温の予報
風の強さと向き（風向・風速）の予報

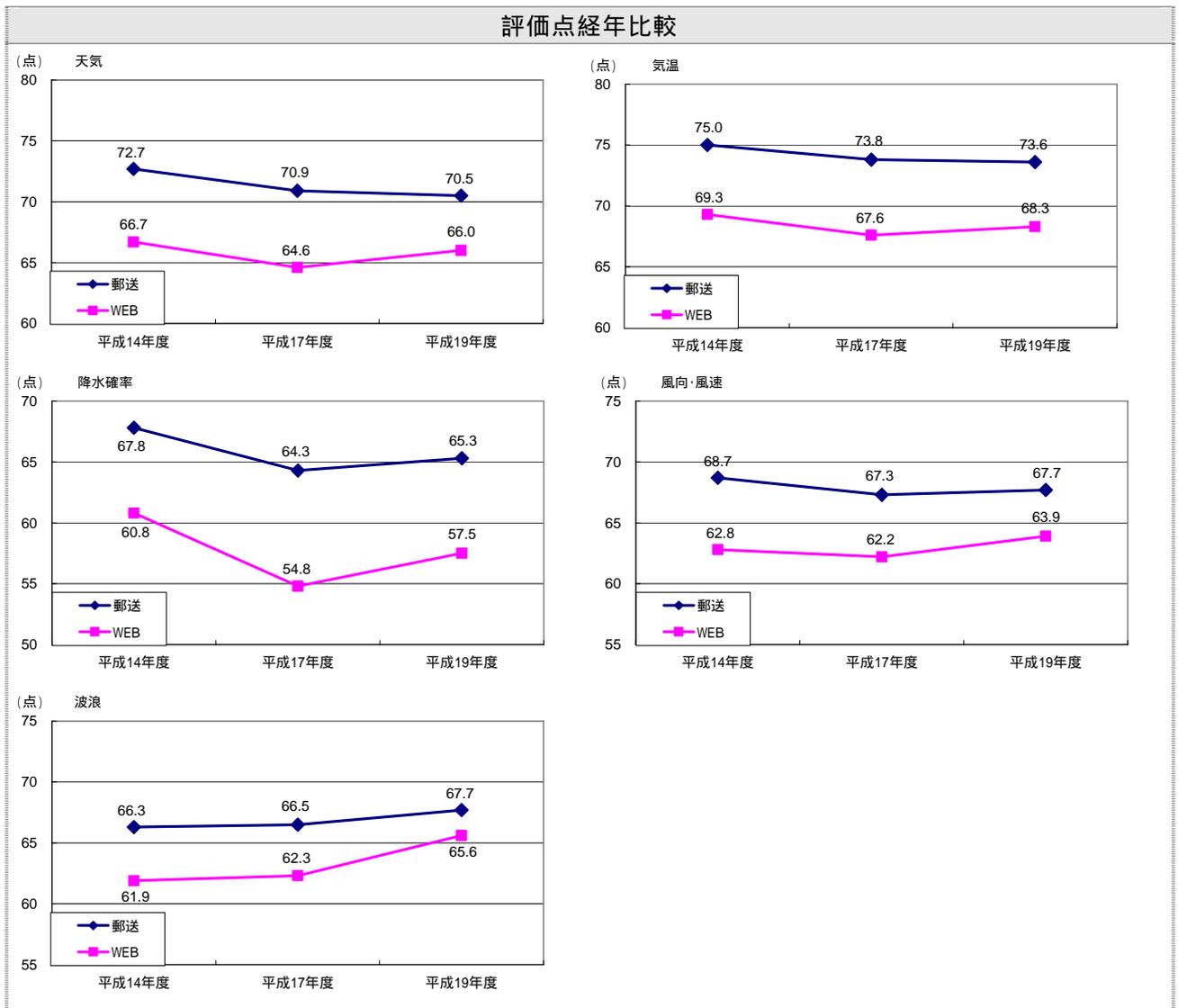
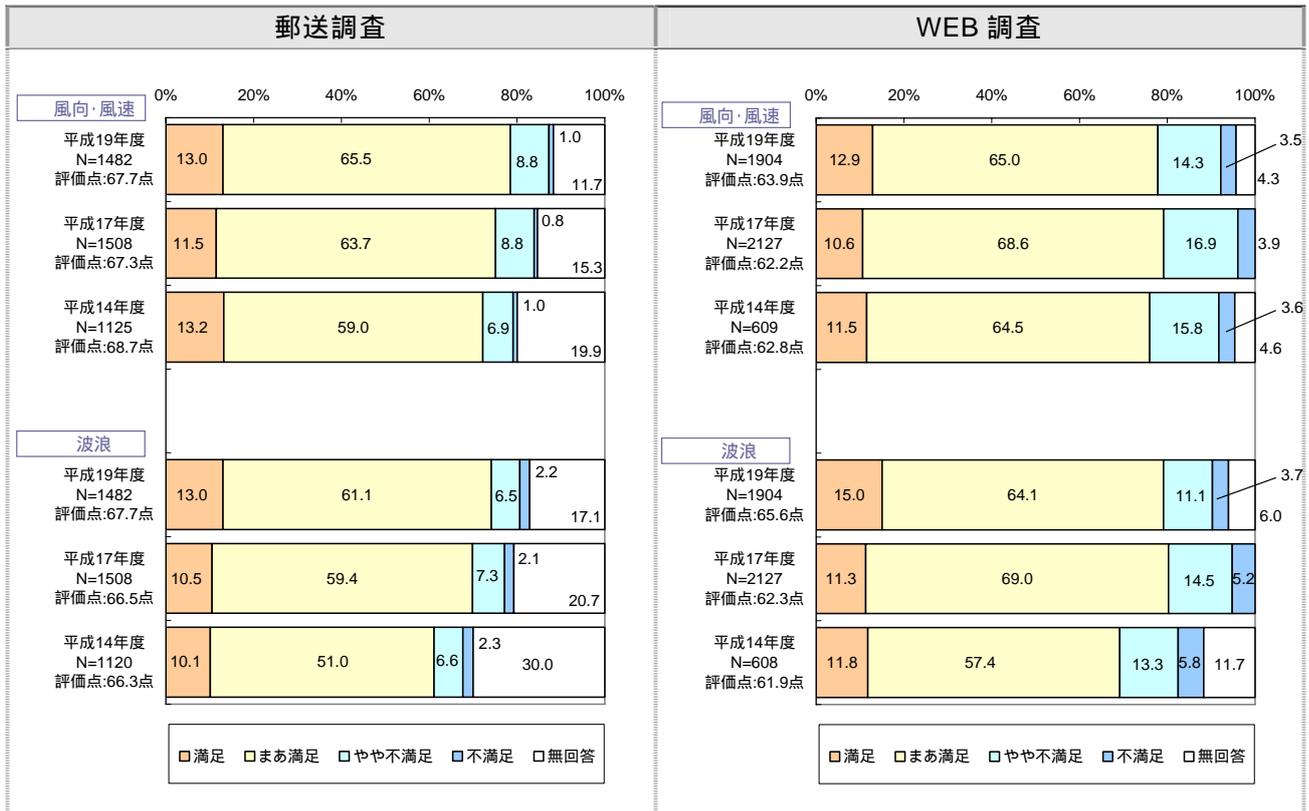
【郵送調査】

いずれの内容でも「まあ満足」と答えた人が最も多く、6割以上を占めた。評価点もおおむね高くなっている。

【WEB調査】

郵送調査と比較すると、「降水確率」で不満層が多く、「不満足」「やや不満足」の合計は32.8%であった。





(5) 不満に感じること(複数回答)

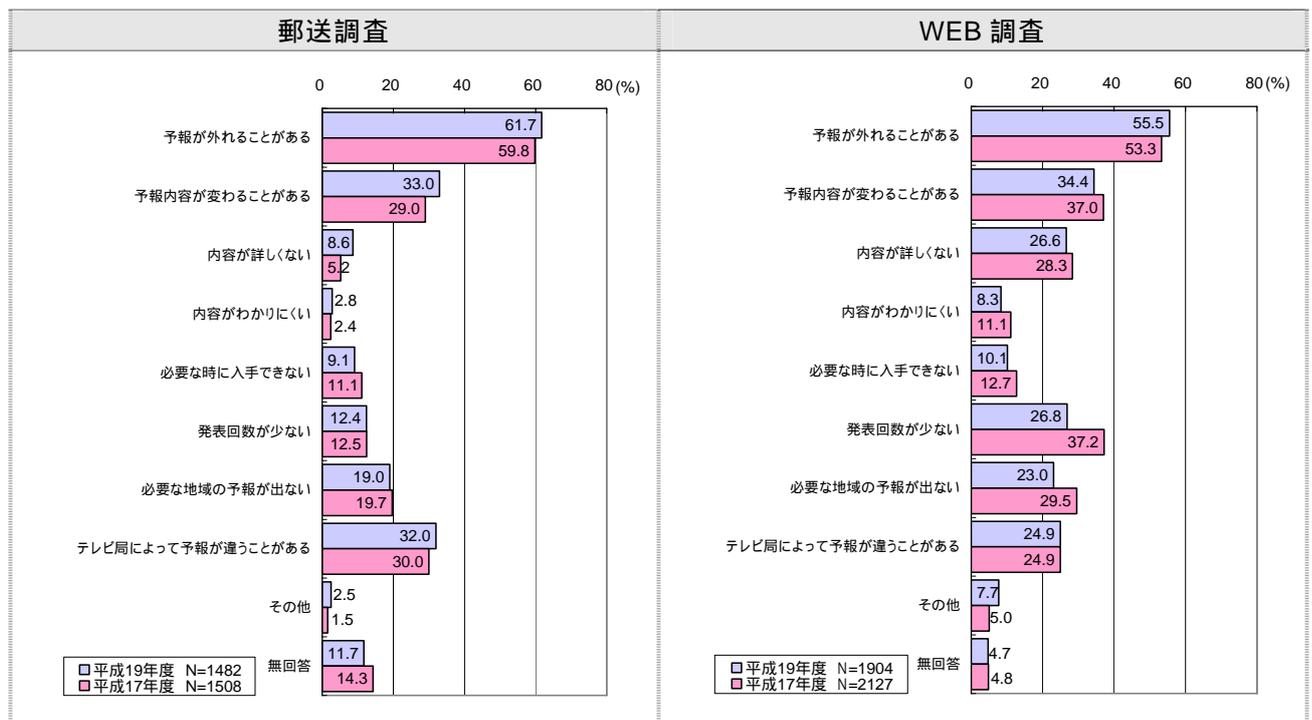
問 2-4. 今日・明日・明後日の天気予報について不満に感じるがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください

【郵送調査】

「予想が外れることがある」との回答(61.7%)が最も高く6割を占め、次いで「予報内容が変わることがある」(33.0%)、「テレビ局によって予報が違うことがある」(32.0%)の順であった。不満の割合が高い項目は前回調査と同様であるが、これらの回答は前回調査よりも割合が増加している。

【WEB調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」(55.5%)、「予報内容が変わることがある」(34.4%)との回答の割合が高い。また、「発表回数が少ない」(26.8%)、「内容が詳しくない」(26.6%)、「必要な地域の予報が出ない」(23.0%)との回答が、郵送調査と比較して高い。前回調査と比較すると、「発表回数が少ない」(26.8%)で10ポイント、「必要な地域の予報が出ない」(23.0%)で7ポイント減少している



(6) 放送局や新聞による予報の相違の認知度

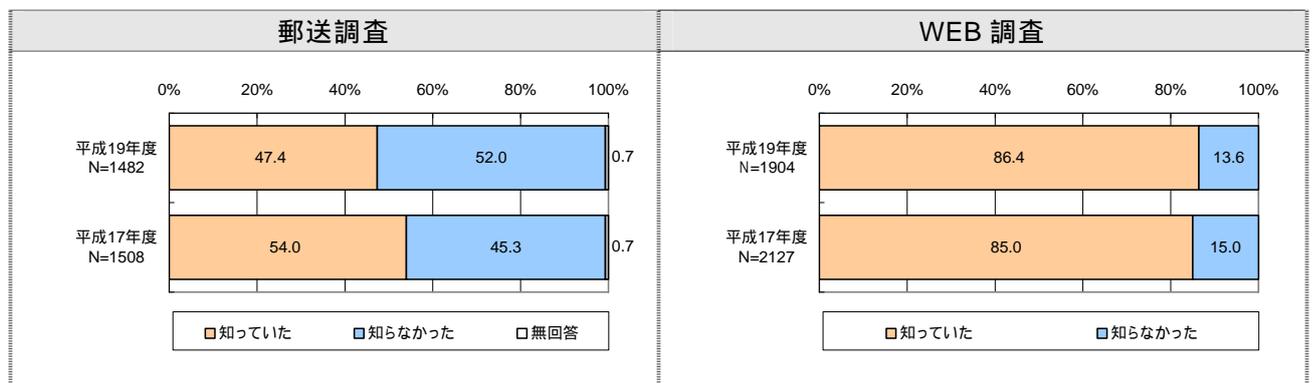
問 2-5 . テレビや新聞、インターネットなどでは、気象庁（気象台）の他に民間の気象会社が独自に発表した天気予報も提供されています。このため、放送局や新聞によって同じ場所の予報でも違った予想天気や予想気温が放送（掲載）されることがあります。あなたは、このことを知っていましたか。

【郵送調査】

「知っていた」との回答（47.4%）が5割を切り、前回調査と比較して若干減少した。

【WEB調査】

WEB調査では「知っていた」との回答（86.4%）が8割台半ばを占め、認知度は高い。



(7) 発表した気象会社名通知の希望

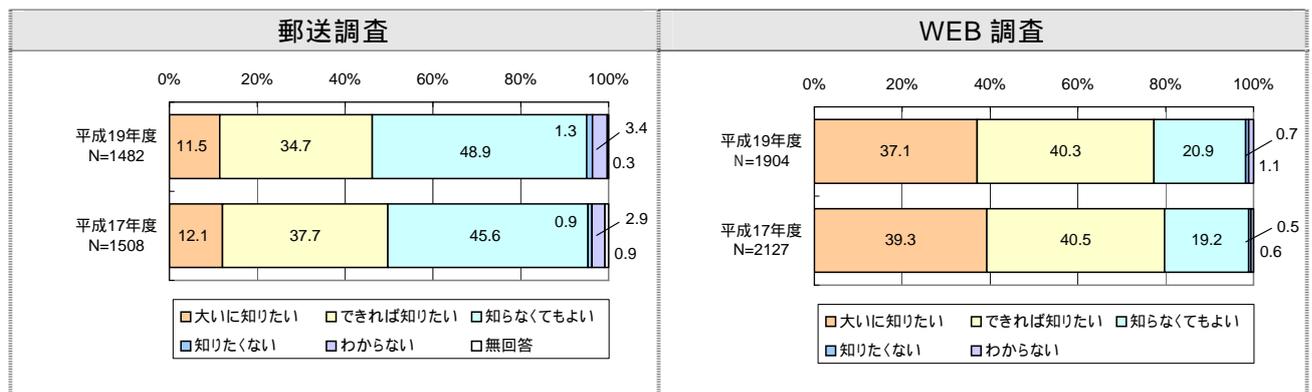
問 2-6 . あなたは、今後、天気予報を利用する際に、その天気予報を発表した気象会社名（又は気象台）を知りたいと思いますか。

【郵送調査】

「知らなくてもよい」との回答（48.9%）が最も高く、半数近くを占めた。

【WEB調査】

「大いに知りたい」「できれば知りたい」の合計（77.4%）が7割台半ばを占め、郵送調査と比較して、気象情報の発表元に注目している人が多いことがうかがわれる。



3. 時系列予報について

(1) 利用度

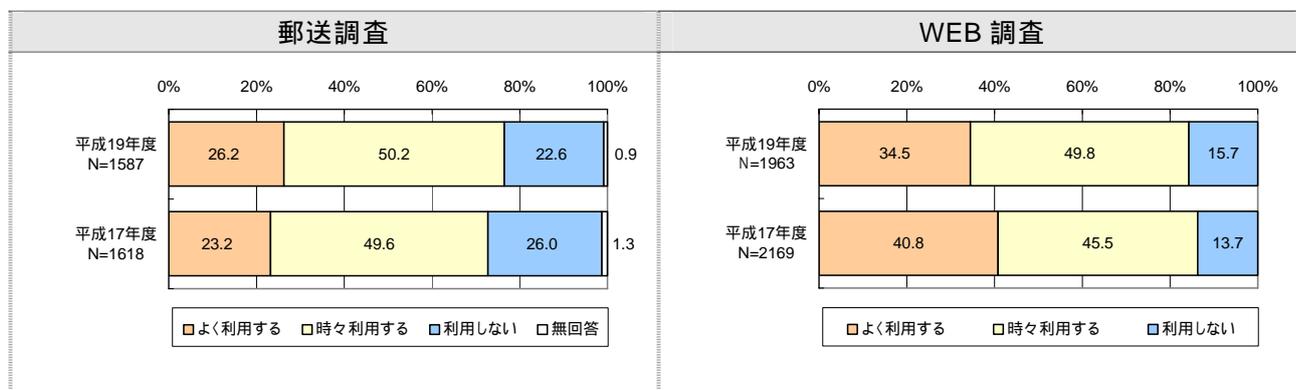
問 3-1. 時系列予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「よく利用する」「時々利用する」の合計（76.4%）は7割台半ばであった。前回の調査と比較すると、利用率は若干高くなっている。

【WEB調査】

「よく利用する」「時々利用する」の合計（84.3%）は8割台半ばであった。このうち「よく利用する」（34.5%）は3割台半ばとなっており、郵送調査に比べると利用度は高い。前回の調査と比較すると、利用率はやや低くなった。



(1-1) 利用しない理由

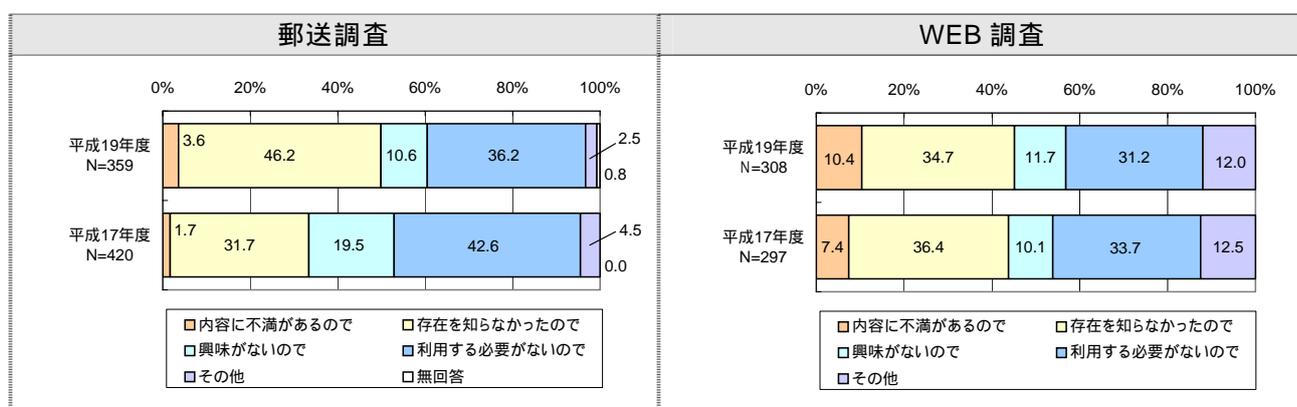
付問 3-1 . 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「存在を知らなかったの」の回答（46.2%）が最も高く 4 割台半ばを占め、次いで「利用する必要がないの」の回答（36.2%）が 3 割台半ばとなった。前回調査と比較すると、「存在を知らなかったの」が 15 ポイントも上昇した。

【WEB 調査】

「存在を知らなかったの」の回答（34.7%）が最も高く 3 割台半ばを占め、次いで「利用する必要がないの」（31.2%）が 3 割強で続いた。



(2) 重視度

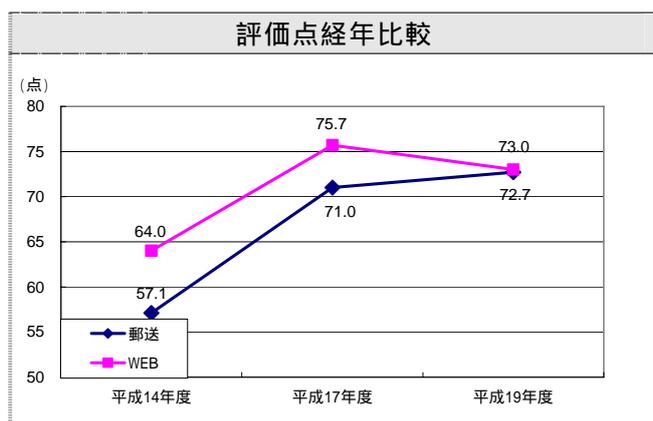
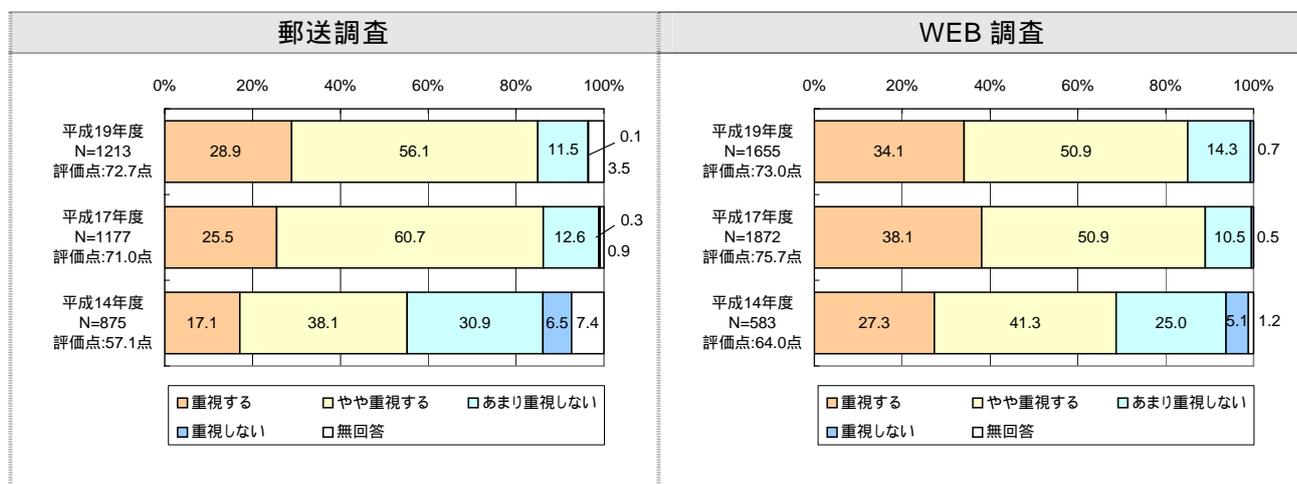
問 3-2 . 時系列予報をどの程度重視していますか。

【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」の合計（85.0%）は 8 割台半ばであった。評価点は 72.7 点で、重視度は高い。評価点を経年で比較すると、平成 17 年度調査で大きく上昇し、今回調査で 3 ポイント減少している。

【WEB 調査】

「重視する」「やや重視する」の合計（85.0%）は 8 割台半ばで郵送調査と同様だが、「重視する」は 34.1%で、郵送調査と比べて 5 ポイント高い。また、評価点をみると、今回調査は 73.0 点で、前回調査同様重視度は高いといえる。



(3) 満足度

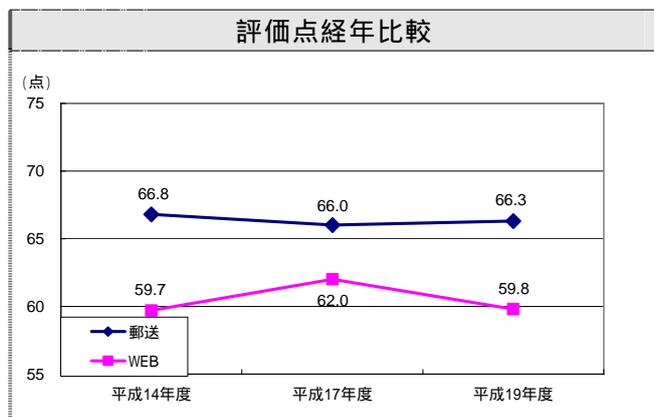
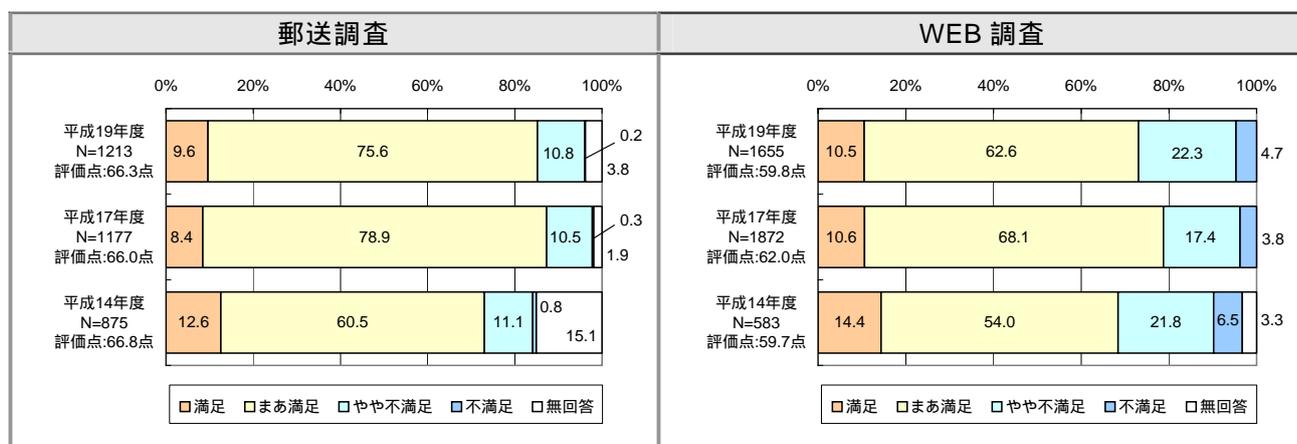
問 3-3 . 時系列予報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」の合計(85.2%)は8割台半ばに達したが、「まあ満足」(75.6%)が7割台半ばを占めており、積極的な満足層は少ない。このため、評価点は66.3点に止まった。評価点を経年で比較すると、大きな変化はみられない。

【WEB調査】

郵送調査に比べると不満層が多く、評価点は59.8点で、郵送調査よりも7ポイント低い。評価点を経年で比較すると、大きな変化はみられない。



(4) 不満に感じること(複数回答)

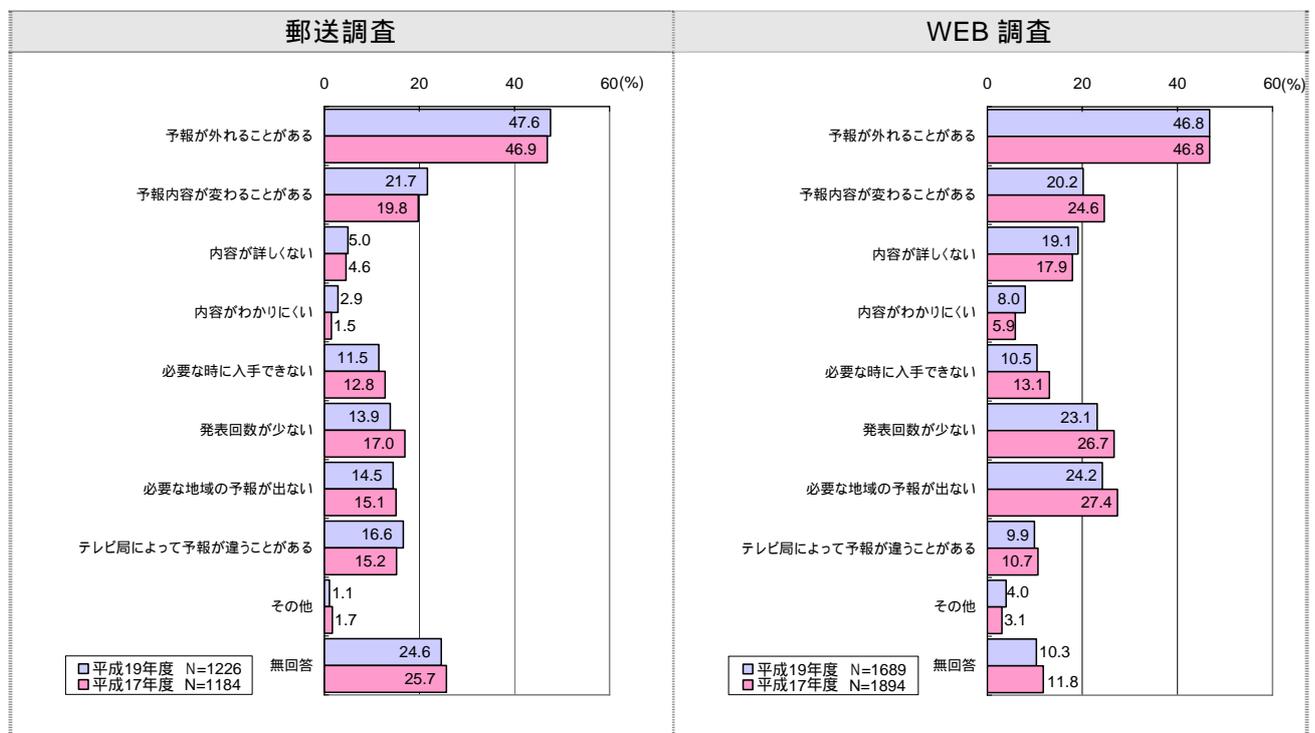
問 3-4. 時系列予報について不満に感じるものがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください。

【郵送調査】

「予想が外れることがある」との回答(47.6%)が最も高く4割台半ばを占め、予報精度に不満を感じている。

【WEB調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」(46.8%)が最も高い。なお、郵送調査に比べて、「必要な地域の予報が出ない」「発表回数が少ない」「内容が詳しくない」の割合が高く、前回調査と同様、一層きめ細かい予報が求められている。



4. 天気分布予報について

(1) 利用度

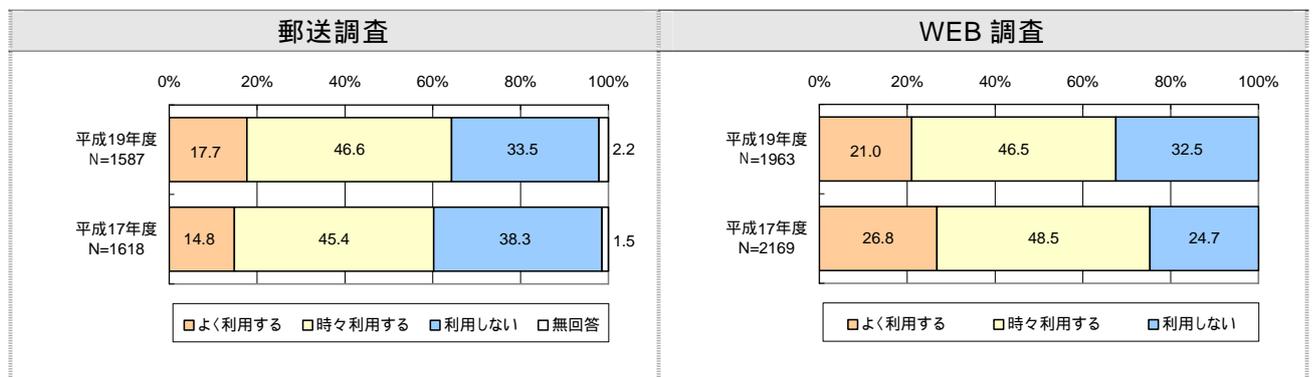
問 4-1. 天気分布予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「よく利用する」「時々利用する」の合計（64.3%）は6割台半ばで、前回調査と比較して利用度が上昇した。

【WEB調査】

「時々利用する」「よく利用する」の合計（67.5%）が6割台半ばであった。前回調査と比較すると、「利用しない」との回答が増加している。



(1-1) 利用しない理由

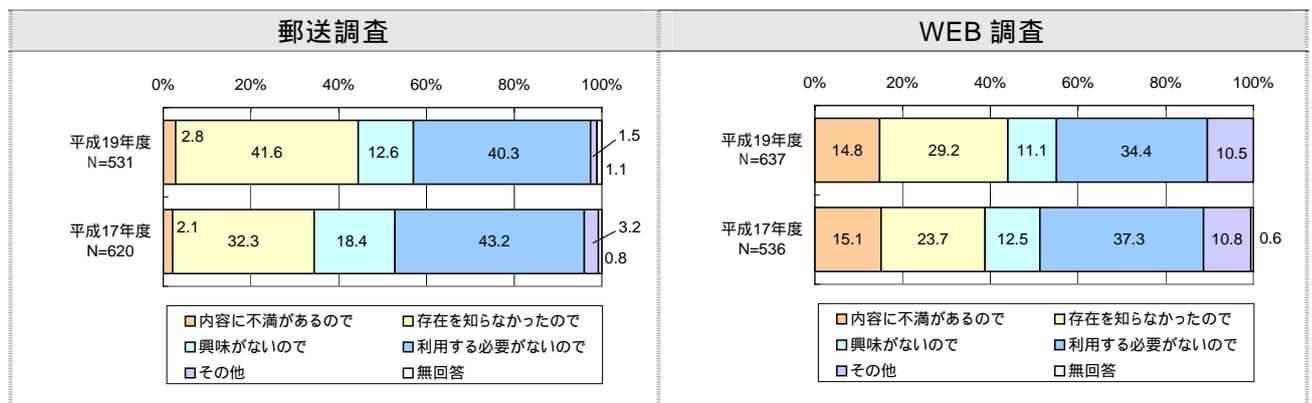
付問 4-1 . 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「存在を知らなかったの」(41.6%)、「利用する必要がないの」(40.3%)が4割強を占め高い。前回調査と比較すると、「存在を知らなかったの」が10ポイント近く増加している。

【WEB調査】

「利用する必要がなかったの」との回答(34.4%)が最も高く3割台半ばを占め、次いで「存在を知らなかったの」(29.2%)、「内容に不満があるの」(14.8%)の順であった。郵送調査と比較すると、前回調査同様「内容に不満があるの」との回答の割合が高い。



(2) 重視度

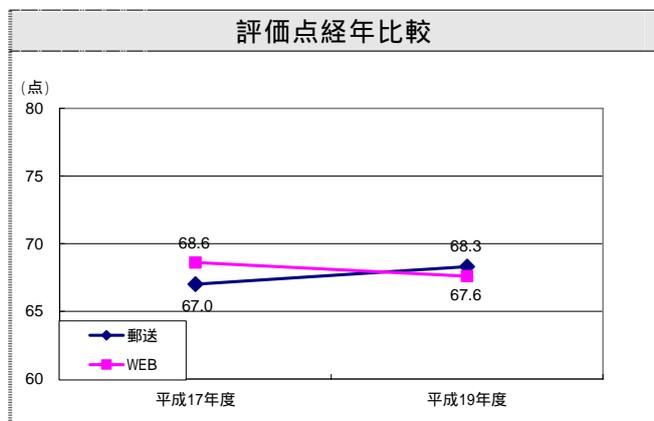
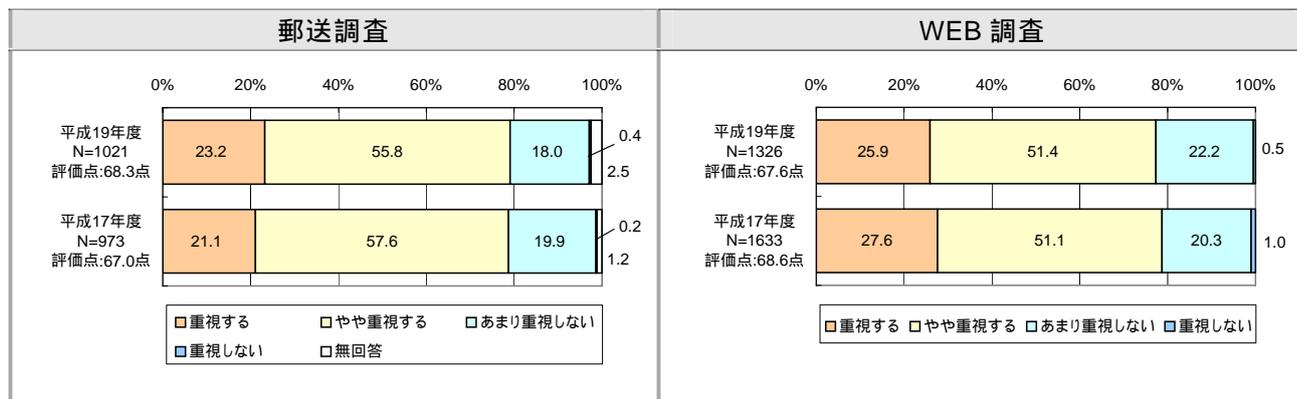
問 4-2 . 天気分布予報をどの程度重視していますか。

【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」の合計は 79.0%であった。評価点は、前回調査から若干上昇して 68.3 点で重視度は高い。

【WEB 調査】

郵送調査とほぼ同様の傾向がみられた。評価点を経年で比較すると、大きな変化はみられない。



(3) 満足度

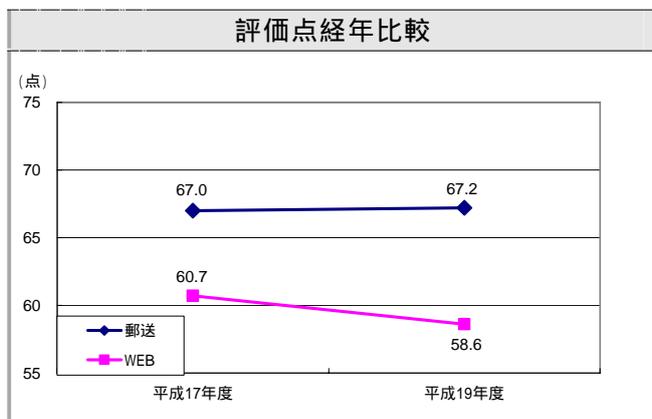
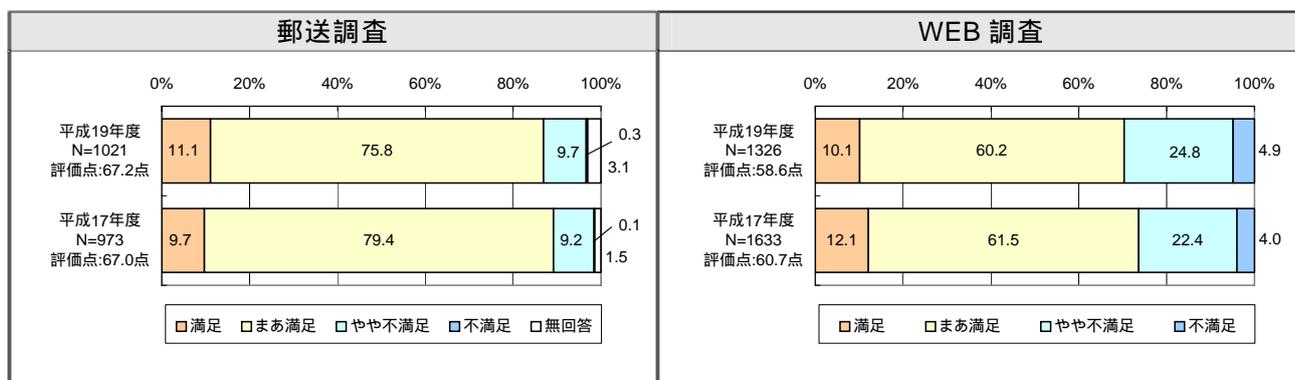
問 4-3 . 天気分布予報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」の合計（86.9%）は8割台半ばを占めたが、「まあ満足」（75.8%）が7割台半ばを占めており、積極的な満足層は少ない。評価点は67.2点と高く、前回調査と同程度である。

【WEB調査】

「満足」「まあ満足」の合計（70.3%）は7割に達したが、「まあ満足」（60.2%）が6割を占め、積極的な満足層は少ない。「やや不満足」「不満足」も3割おり、評価点は郵送調査より9ポイント少ない58.6点に止まった。評価点を経年で比較すると、前回調査から2ポイント下降している。



(4) 不満に感じること(複数回答)

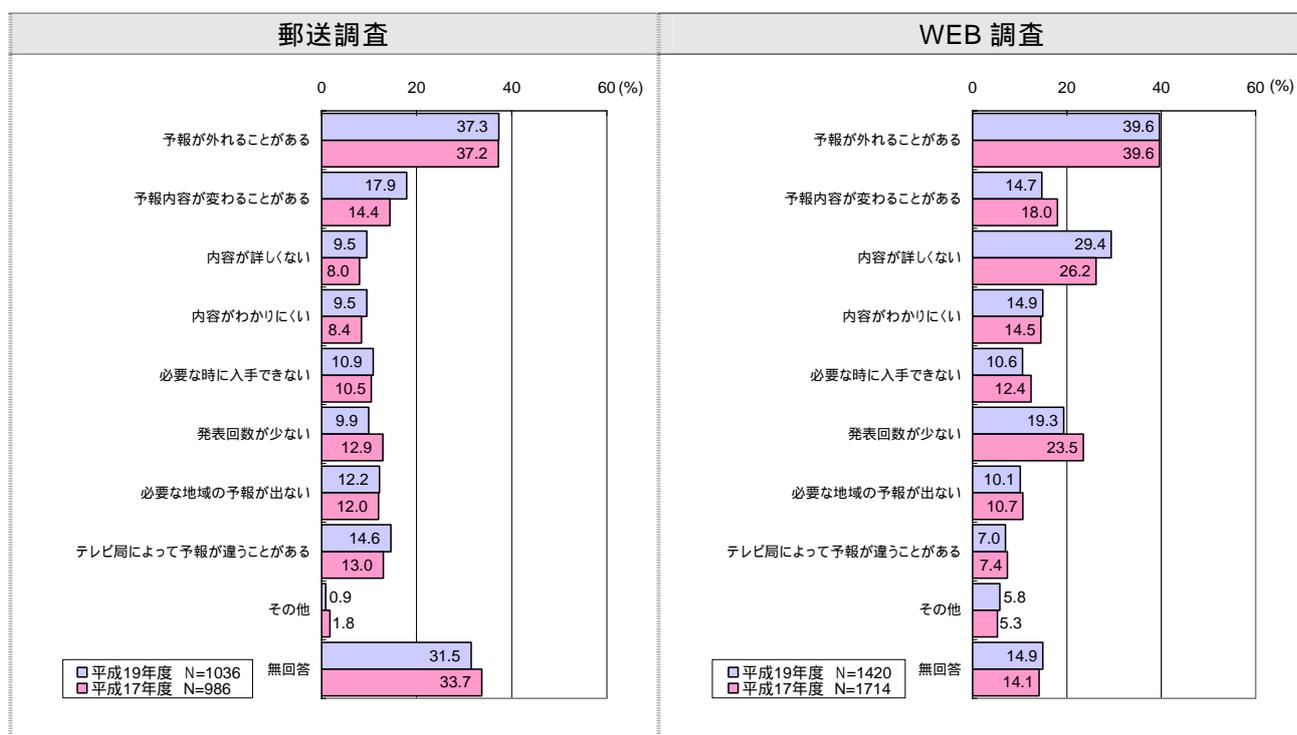
問 4-4. 天気分布予報について不満に感じることはありませんでしたら、あてはまるものをすべて選んでください。

【郵送調査】

「予想が外れることがある」との回答(37.3%)が最も高く3割台半ばを占め、予報精度に不満を感じている。

【WEB調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」(39.6%)が最も高い。なお、郵送調査に比べて、「内容が詳しくない」「発表回数が少ない」の割合が高い。



5. 週間天気予報について

(1) 利用度

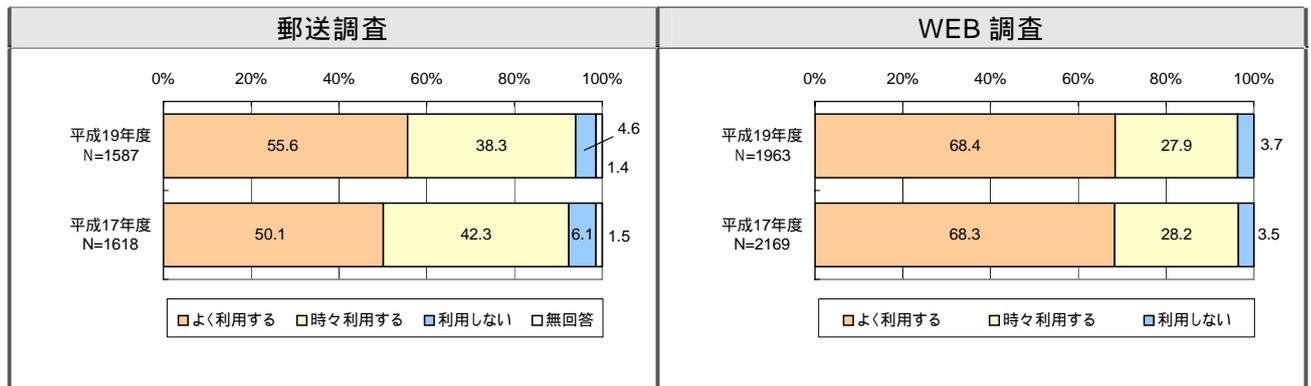
問 5-1. 週間天気予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」の合計（93.9%）は9割台半ばであった。

【WEB調査】

「時々利用する」「よく利用する」の合計（96.3%）は9割台半ばであった。このうち、「よく利用する」（68.4%）は7割近くを占め、郵送調査と比べ13ポイント高い。



(2) 重視度

問 5-2-1 . 週間天気予報の各内容について、どの程度重視していますか。

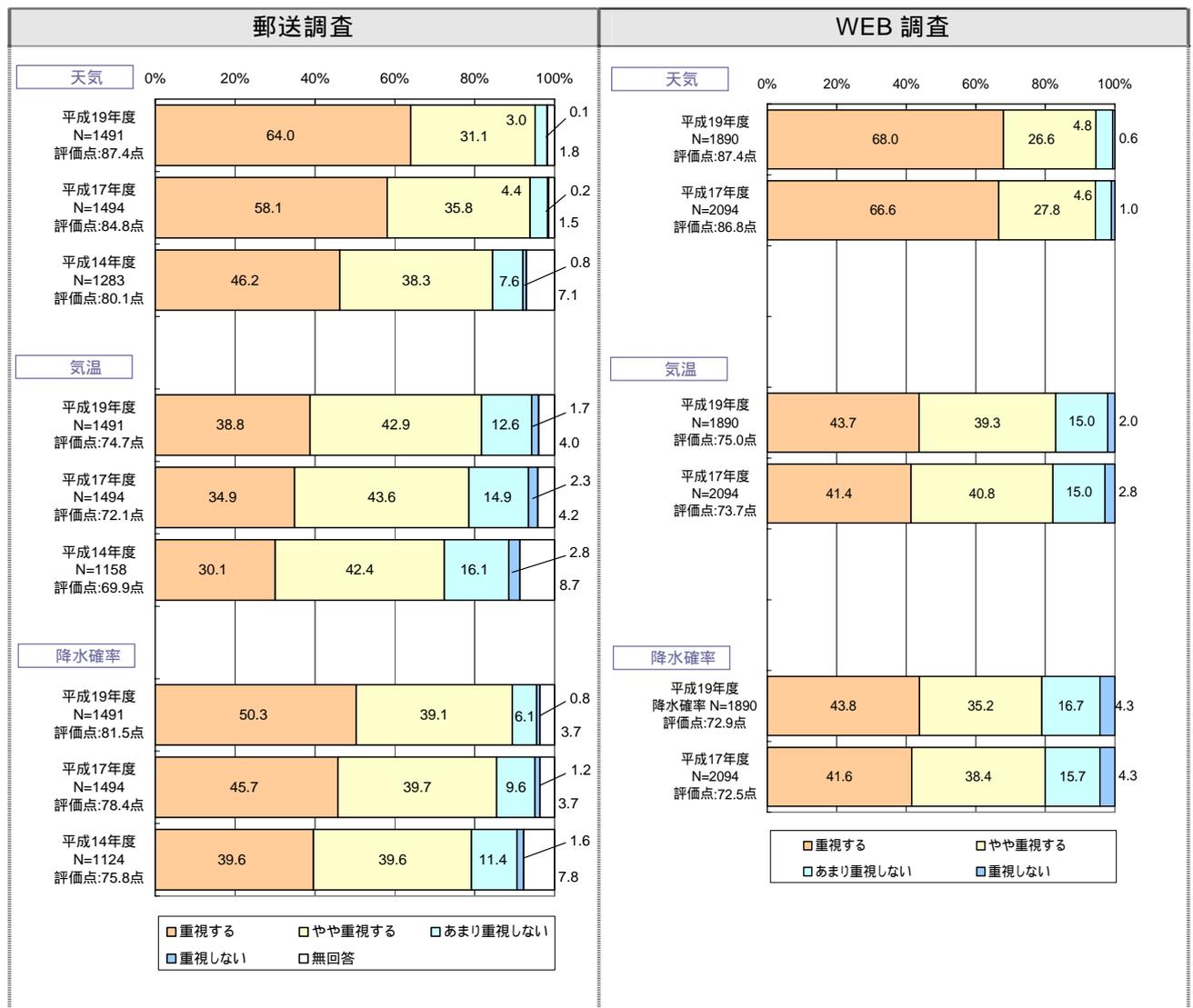
天気(晴、曇、雨など)の予報
雨や雪の降る確率(降水確率)の予報
最高・最低気温の予報
予報の確度(信頼度)情報

【郵送調査】

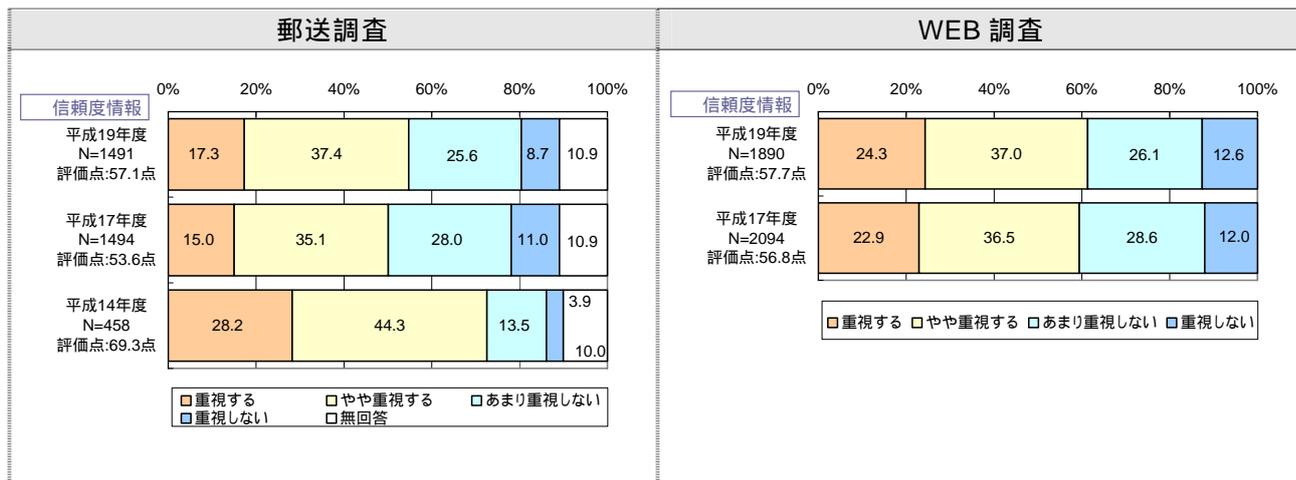
「重視する」「やや重視する」の合計は、「天気」(95.1%)で9割台半ば、「降水確率」(89.4%)で9割弱、「最高・最低気温」(81.7%)で8割強を占めた。「天気」と「降水確率」の評価点は80点台で、重視度は非常に高い。また、「最高・最低気温」も74.7点と重視されている。一方、「信頼度情報」(54.7%)は5割台半ばに止まり、評価点も57.1点とそれほど重視されていない。過去2回の調査と比較すると、「信頼度情報」を除いて継続的に評価点が上昇しており、近年重視度が増していることがうかがえる。

【WEB調査】

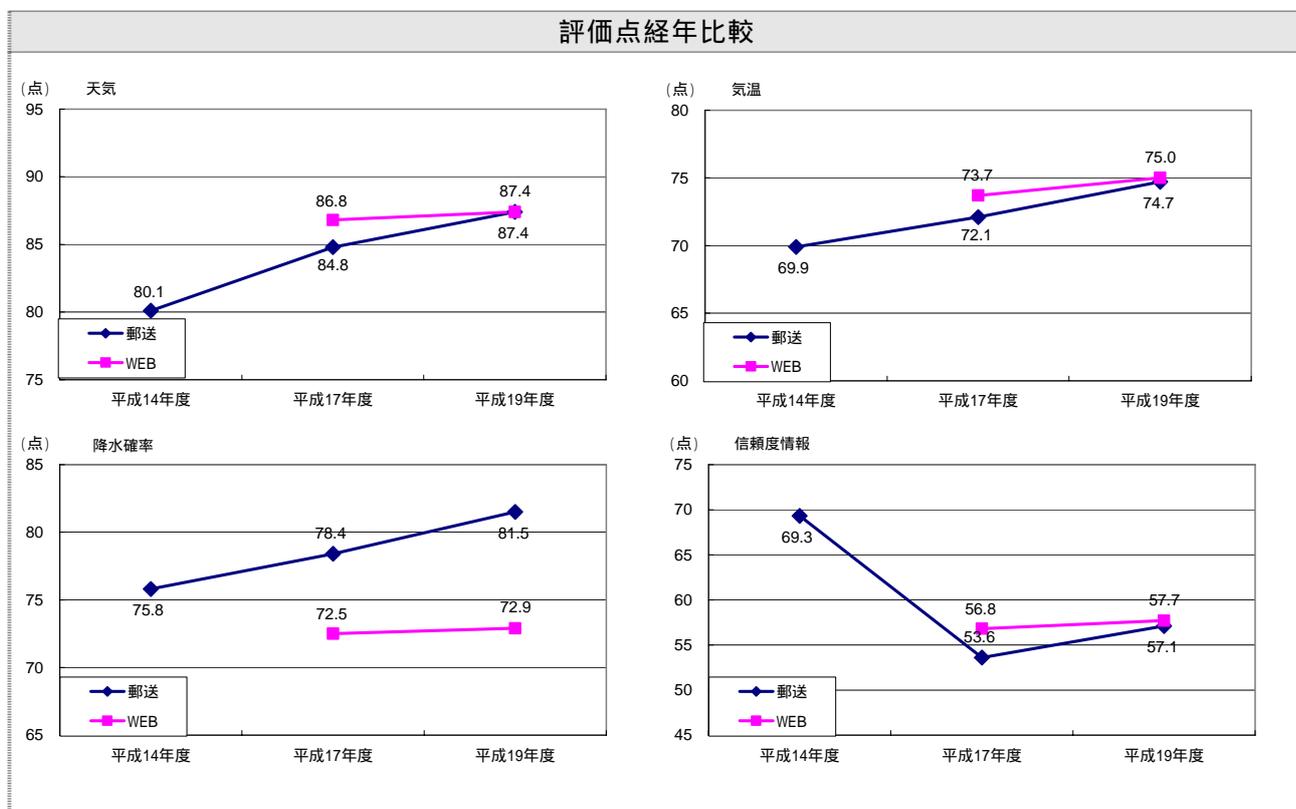
郵送調査と同様の傾向がみられた。



週間天気予報の重視度についての質問は、平成14年度のWEB調査では行っていない。



週間天気予報の重視度についての質問は、平成14年度調査では行っていない。



週間天気予報の重視度についての質問は、平成14年度のWEB調査では行っていない。

(3) 満足度

問 5-2-2 . 週間天気予報の各内容について、どの程度満足していますか。

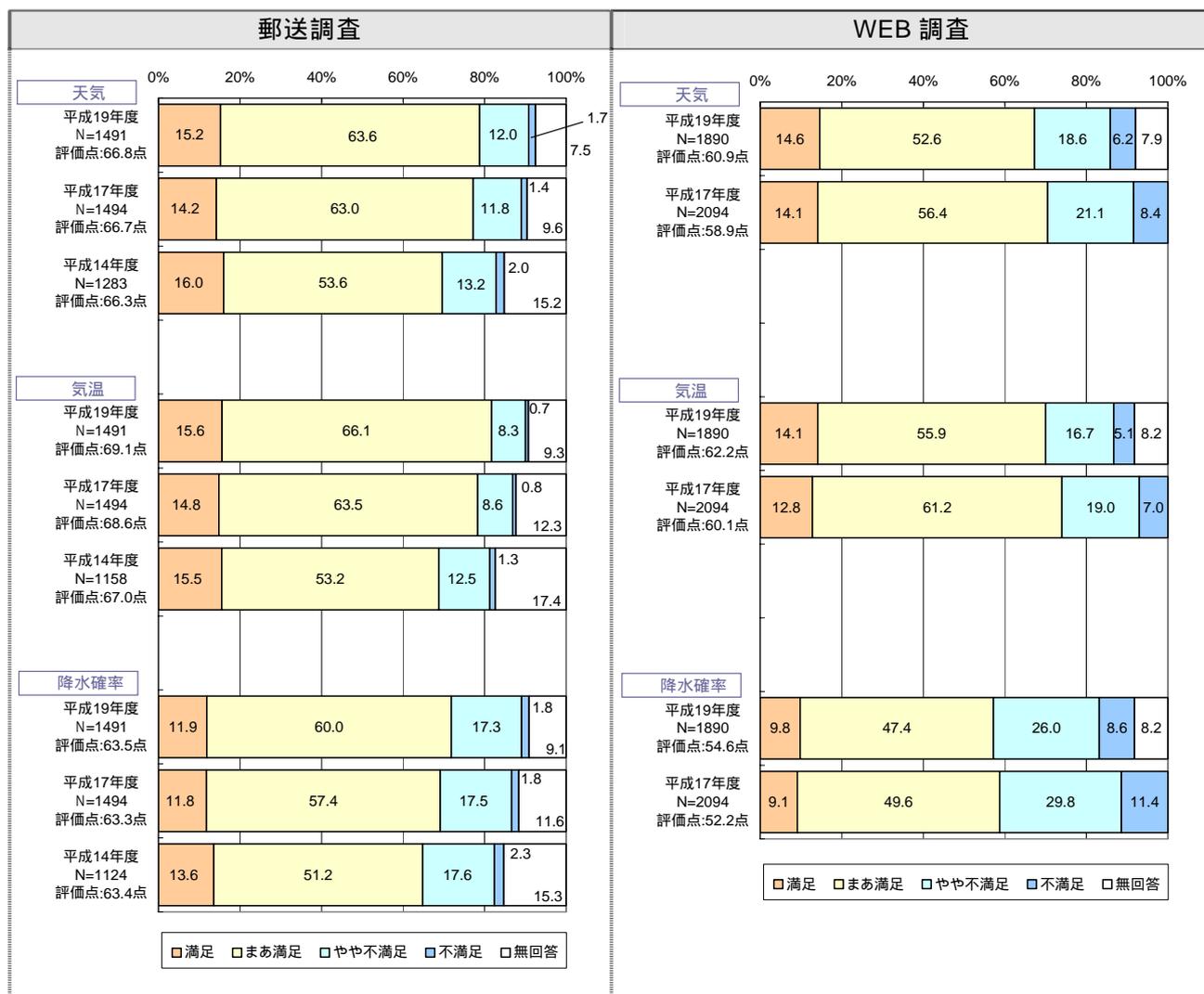
天気(晴、曇、雨など)の予報
雨や雪の降る確率(降水確率)の予報
最高・最低気温の予報
予報の確度(信頼度)情報

【郵送調査】

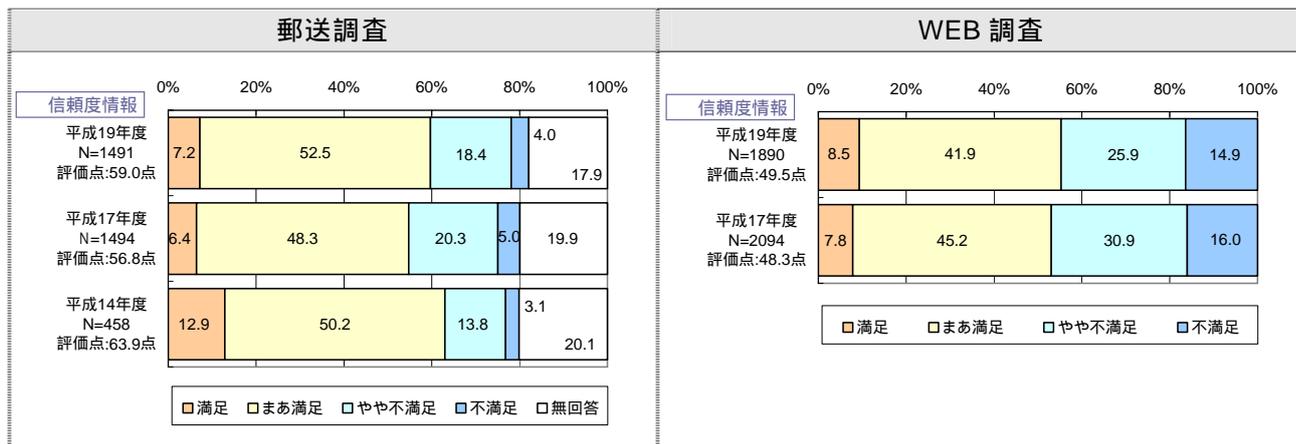
いずれの内容も「まあ満足」との回答が最も高い。評価点については「最高・最低気温」「天気」の満足度が高い。これらの傾向は、過去2回の調査とほぼ同様である。評価点を経年で比較すると、「最低・最高気温」では上昇傾向にある。「信頼度情報」では、平成17年度調査で大きく下降したが、今回調査では若干上昇している。「天気」「降水確率」では大きな変化はみられない。

【WEB調査】

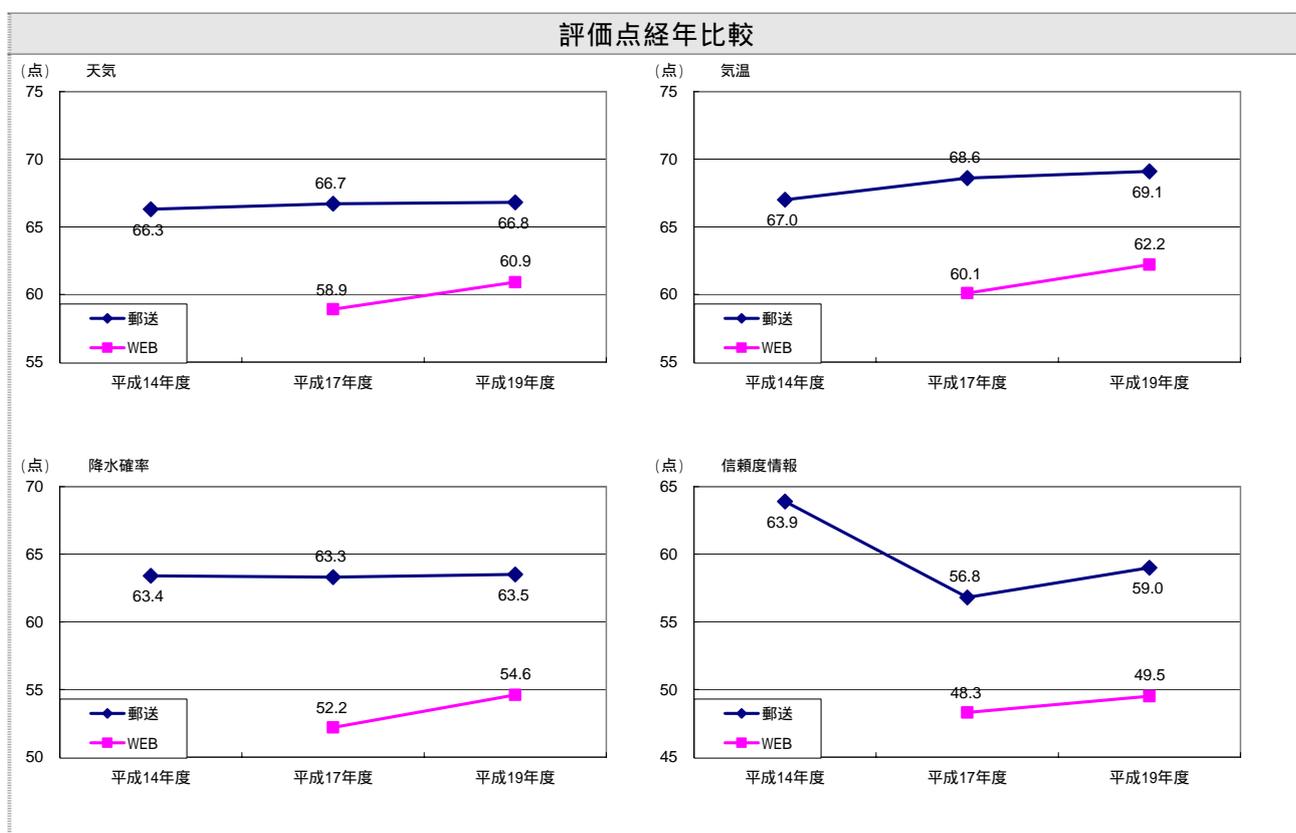
郵送調査に比べると「不満」「やや不満」と答えた人が多く、評価点は郵送調査と比べ全体的に低い。いずれの予報も前回調査と比較すると高くなっている。



週間天気予報の満足度についての質問は、平成14年度のWEB調査では行っていない。



週間天気予報の満足度についての質問は、平成14年度調査では行っていない。



週間天気予報の満足度についての質問は、平成14年度のWEB調査では行っていない。

(4) 不満に感じること(複数回答)

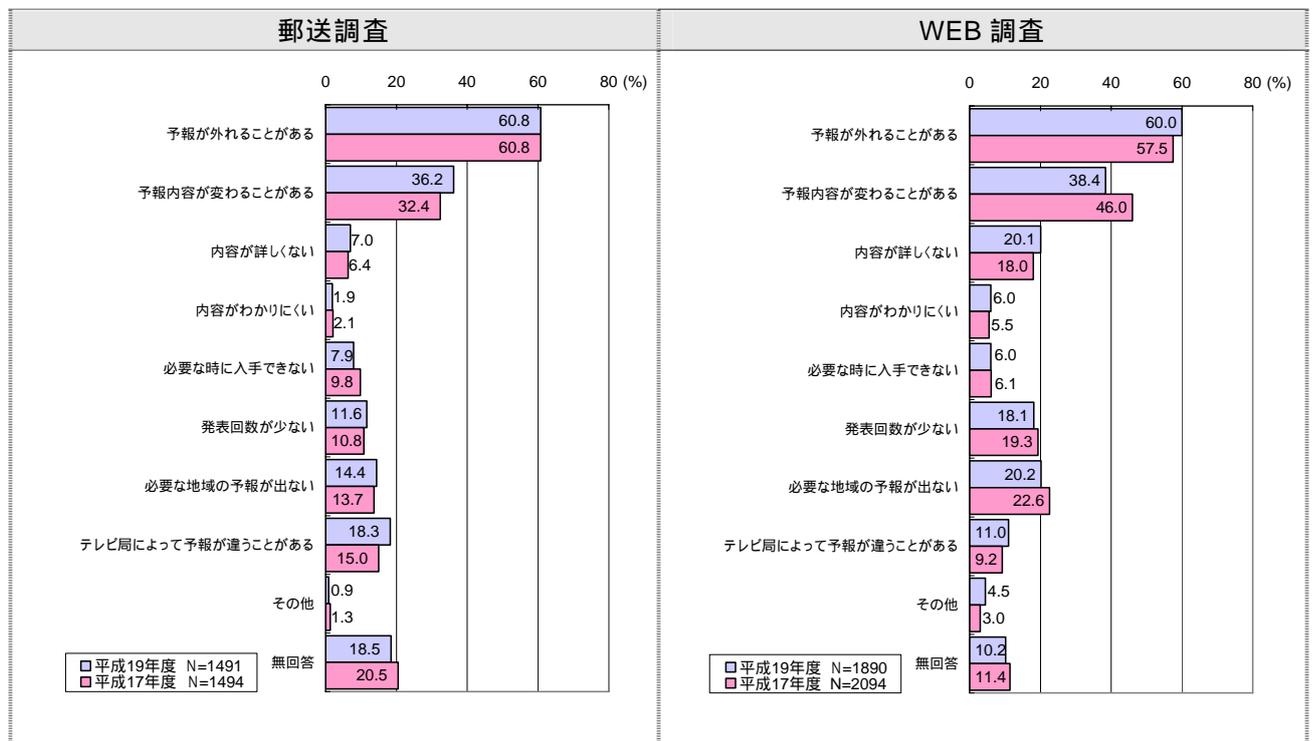
問 5-3. 週間天気予報について不満に感じるがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください。

【郵送調査】

「予想が外れることがある」との回答(60.8%)が最も高く6割強を占め、次いで「予報内容が変わることがある」(36.2%)の順であった。

【WEB調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」(60.0%)、「予報内容が変わることがある」(38.4%)が高い。この傾向は、前回調査とほぼ同様である。



6. 季節予報について

(1) 利用度

問 6-1. 季節予報をどの程度利用していますか。

1 か月予報

3 か月予報

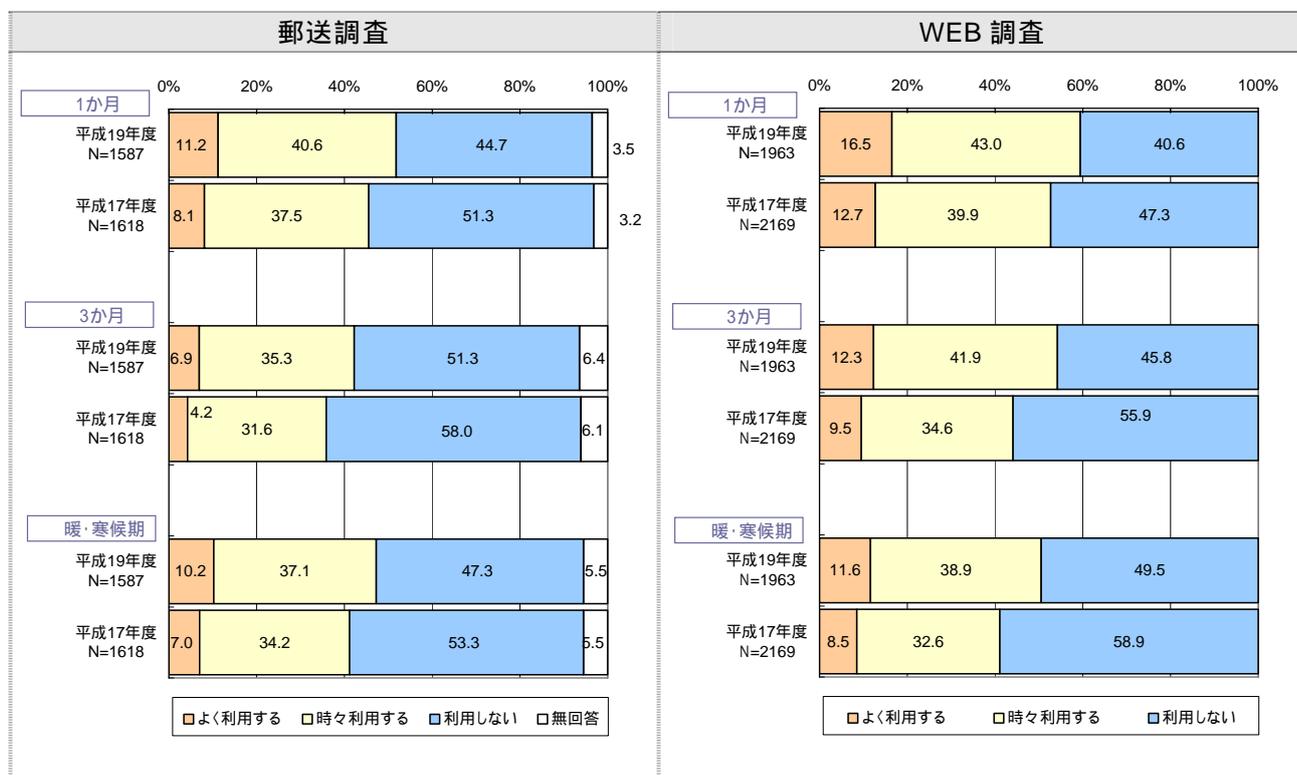
暖・寒候期予報

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」の合計は、「1 か月予報」(51.8%)では過半数となったが、「3 か月予報」(42.2%)、「暖・寒候期予報」(47.3%)ではいずれも半数に満たなかった。前回調査と比較すると、いずれの予報も若干利用度が上がっている。

【WEB 調査】

「時々利用する」「よく利用する」の合計は、「1 か月予報」(59.5%)では6割弱、「3 か月予報」(54.2%)、「暖・寒候期予報」(50.5%)では過半数となり、郵送調査と比較して利用率は若干高い。また、前回調査と比較しても、利用者が増加していることがわかる。



(1-1) 利用しない理由

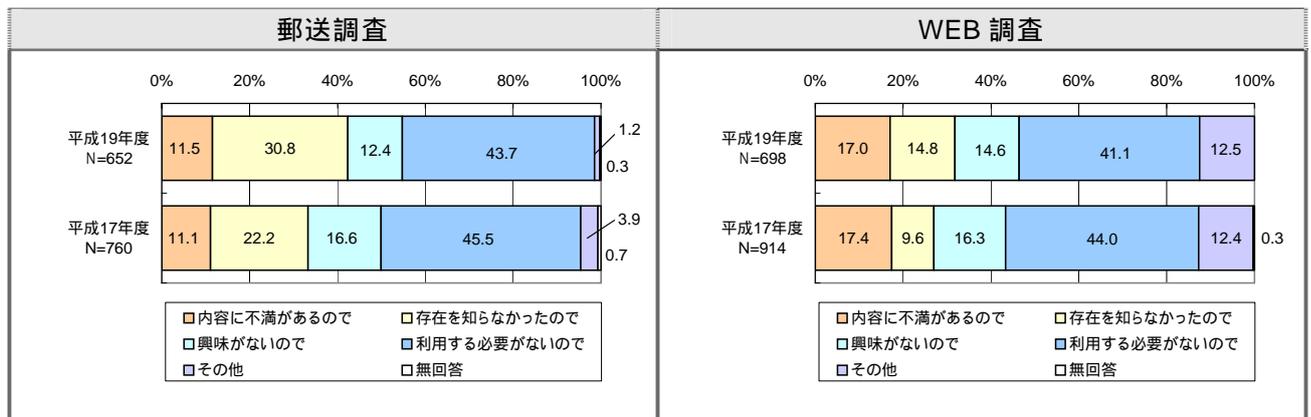
付問 6-1 . 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要がないので」との回答(43.7%)が最も高く4割強を占めた。次いで、「存在を知らなかったの」(30.8%)、「興味がないので」(12.4%)の順であった。

【WEB調査】

「利用する必要がないので」との回答(41.1%)が最も高く4割強を占めた。次いで、「内容に不満があるので」(17.0%)、「存在を知らなかったの」(14.8%)の順であった。



(2) 重視度

問 6-2 . 季節予報について、どの程度重視していますか。

1 か月予報

3 か月予報

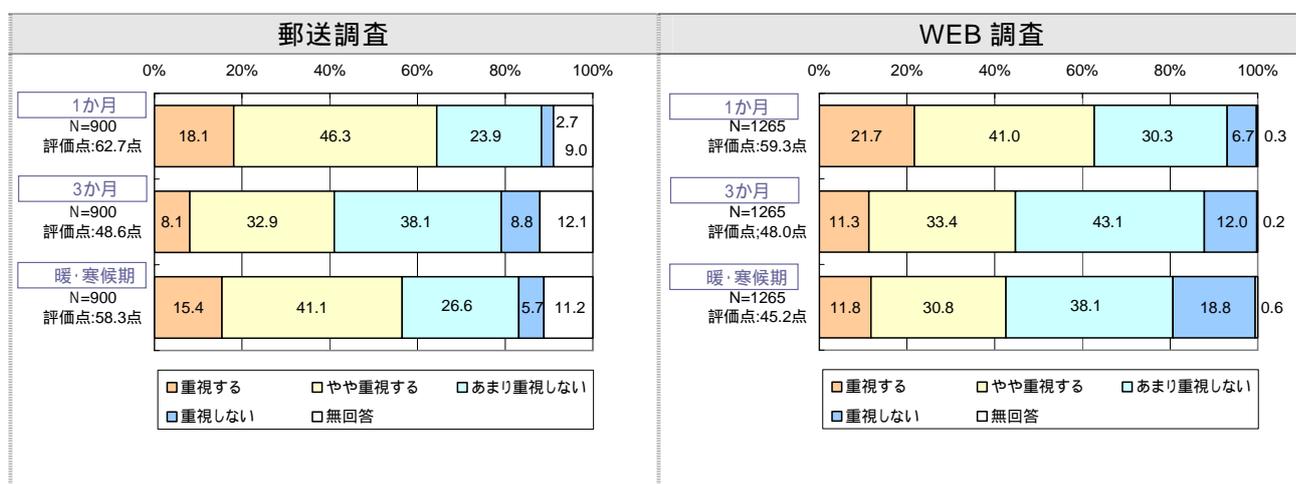
暖・寒候期予報

【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」の合計は、「1 か月予報」(64.4%)では6割台半ば、「3 か月予報」(41.0%)で4割強、「暖・寒気期予報」(56.5%)で5割台半ばとなった。いずれの季節予報「重視しない」「あまり重視しない」の合計の割合が他の予報に比べて高く、平均評価点は67点を下回った。

【WEB調査】

「重視する」「やや重視する」の合計は、「1 か月予報」(62.7%)では6割強、「3 か月予報」(44.7%)で4割台半ば、「暖・寒気期予報」(42.6%)で4割強であった。評価点については、いずれの予報も郵送調査を下回った。



季節予報の重視度についての質問は、過去2回の調査では行っていない。

(3) 満足度

問 6-3 . 季節予報について、どの程度満足していますか。

1 か月予報

3 か月予報

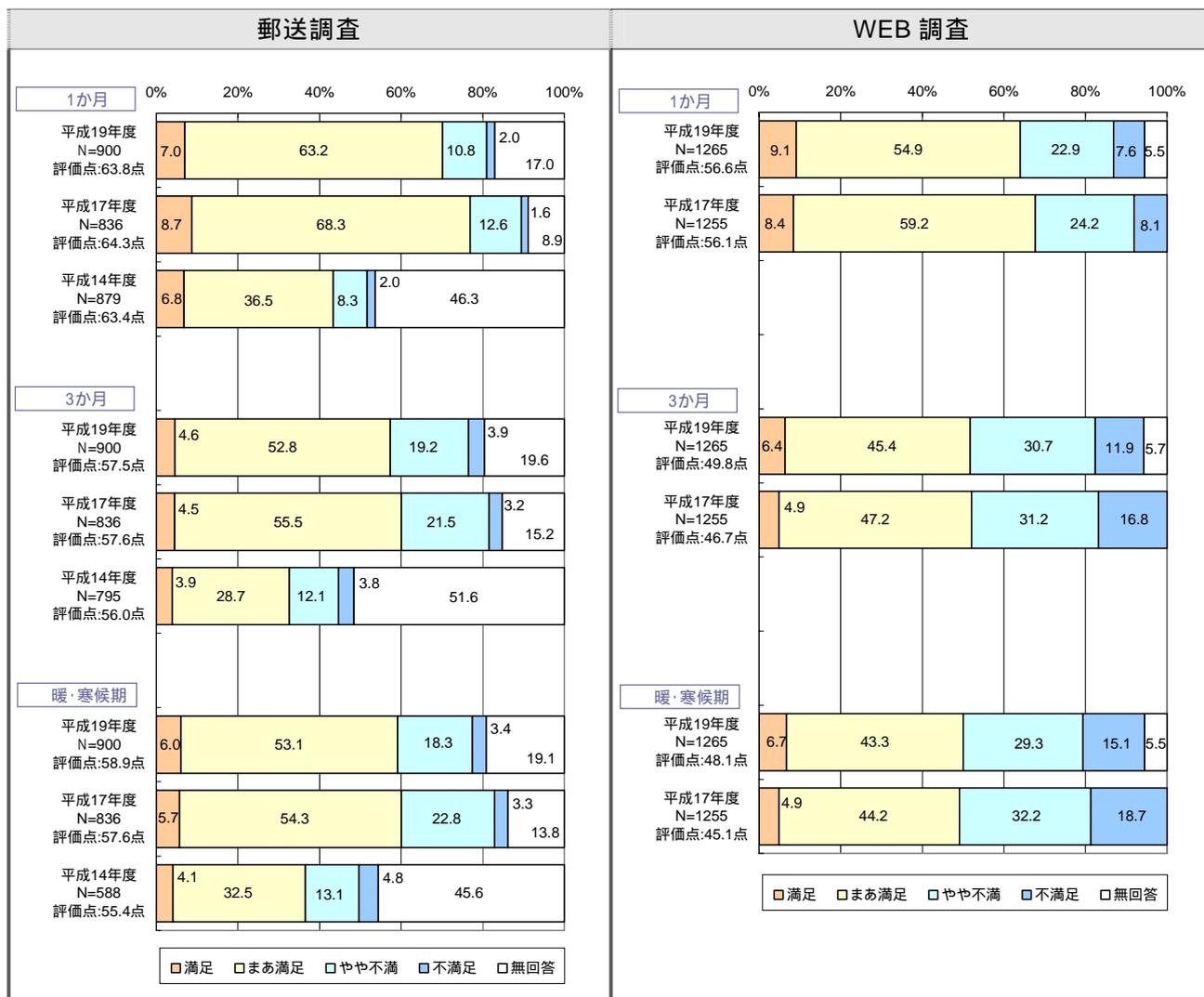
暖・寒候期予報

【郵送調査】

いずれの内容も「まあ満足」との回答が最も高く、季節予報を積極的に評価する意見は少ない。評価点についても、いずれの項目も 67 点を下回った。これらの傾向は、過去 2 回の調査とほぼ同様である。評価点を経年で比較すると、「3 か月予報」「暖・寒候期予報」で上昇傾向にある。

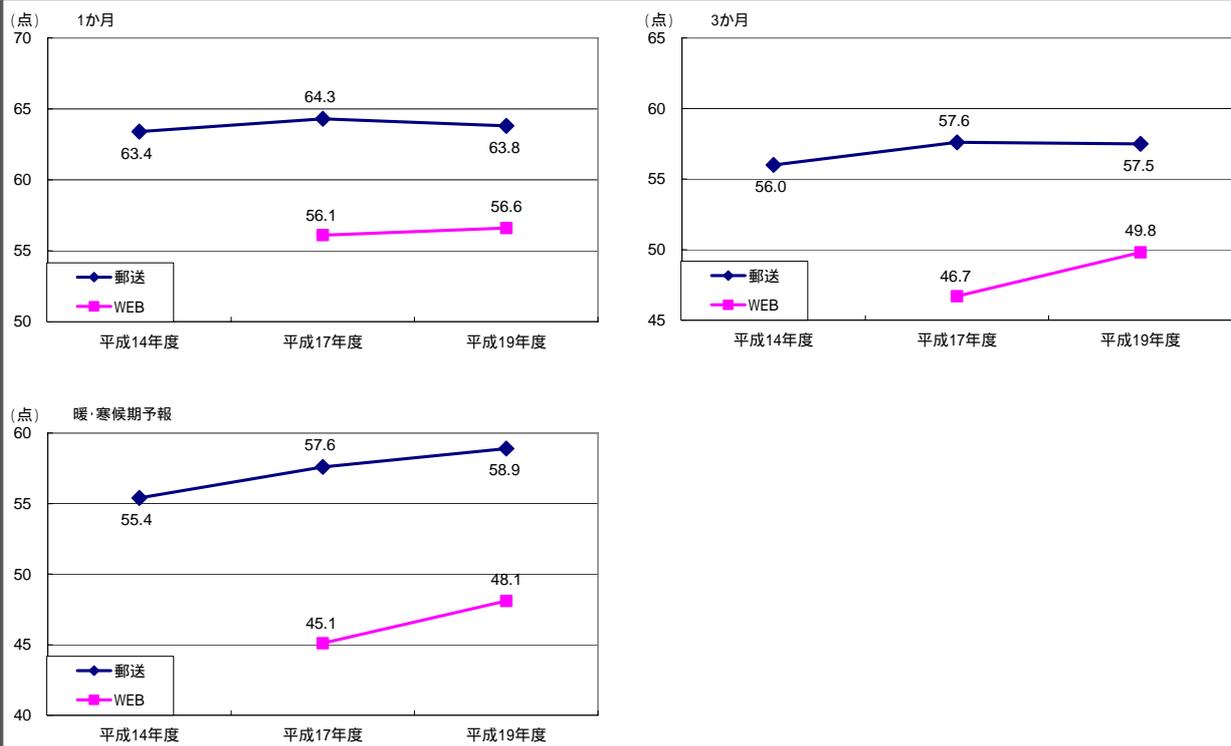
【WEB 調査】

郵送調査に比べると「不満足」「やや不満足」と答えた人が多く、評価点は郵送調査と比べ全体的に低い。評価点を経年で比較すると、郵送調査同様「3 か月予報」「暖・寒候期予報」で上昇傾向にある。



季節予報の満足度について尋ねる質問は、平成 14 年度の WEB 調査では行っていない。

評価点経年比較



季節予報の満足度について尋ねる質問は、平成14年度のWEB調査では行っていない。

(4) 不満に感じること(複数回答)

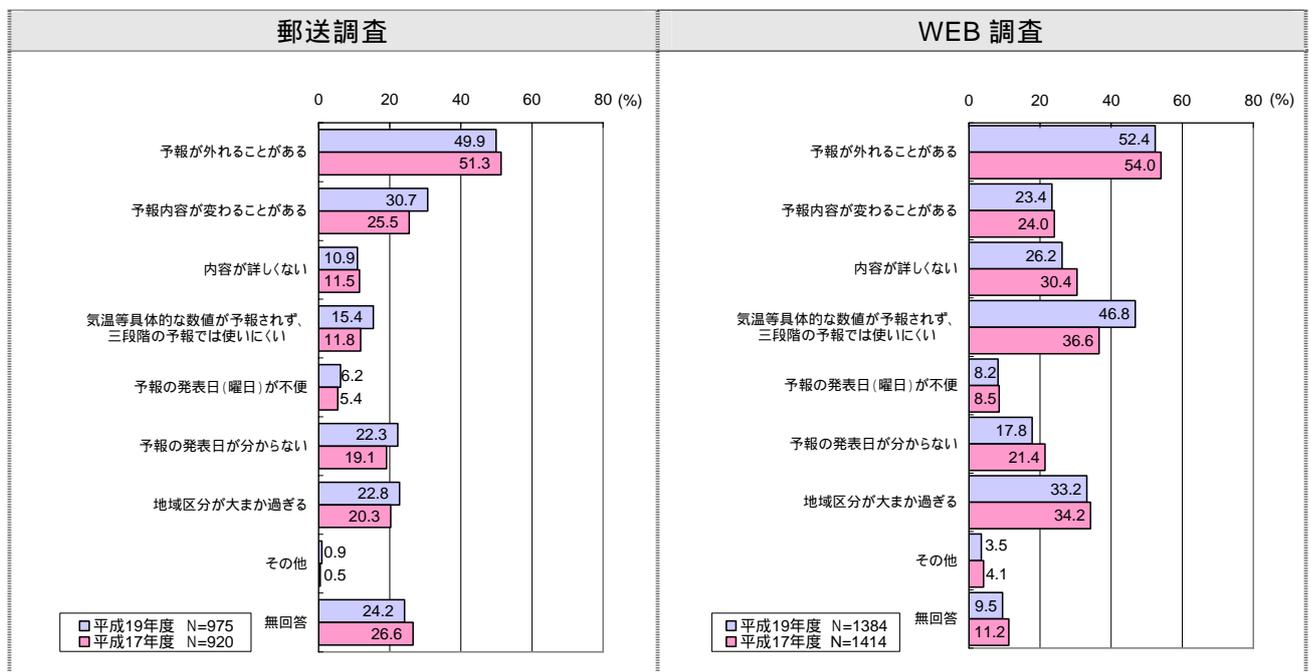
問 6-4. 季節予報について不満に感じるがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください。

【郵送調査】

「予想が外れることがある」との回答(49.9%)が最も高く半数近くを占め、次いで「予報内容が変わることがある」(30.7%)が3割、「地域区分が大きすぎる」(22.8%)、「予報の発表日が分からない」(22.3%)が2割を超えた。

【WEB調査】

「予想が外れることがある」との回答(52.4%)が過半数を占めた。「気温等具体的な数値が予報されず、三段階の予報では使いにくい」(46.8%)も4割台半ばを占め高い。



7. 黄砂情報について

(1) 利用度

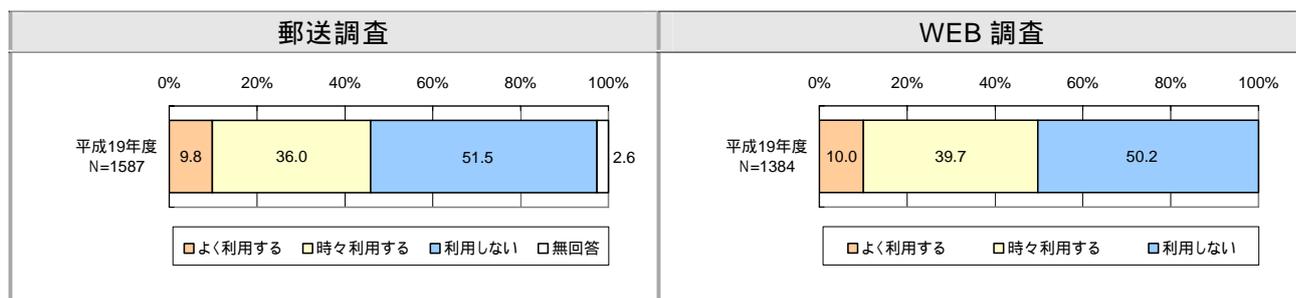
問 7-1. 黄砂情報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「利用しない」(51.5%)との回答が最も高く過半数となった。

【WEB 調査】

郵送調査とほぼ同様の傾向がみられた。



(1-1) 利用しない理由

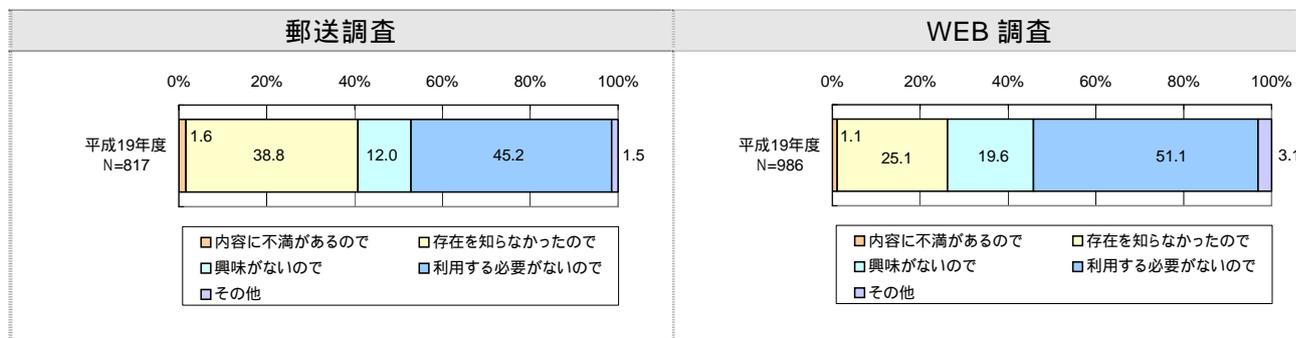
付問 7-1. 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要があるのでは」との回答(45.2%)が最も高く4割台半ばを占めた。次いで、「存在を知らなかったのでは」(38.8%)、「興味が無いのでは」(12.0%)の順であった。

【WEB 調査】

「利用する必要があるのでは」との回答(51.1%)が最も高く過半数を占めた。次いで、「存在を知らなかったのでは」(25.1%)、「興味が無いのでは」(19.6%)の順であった。



(2) 利用目的 (複数回答)

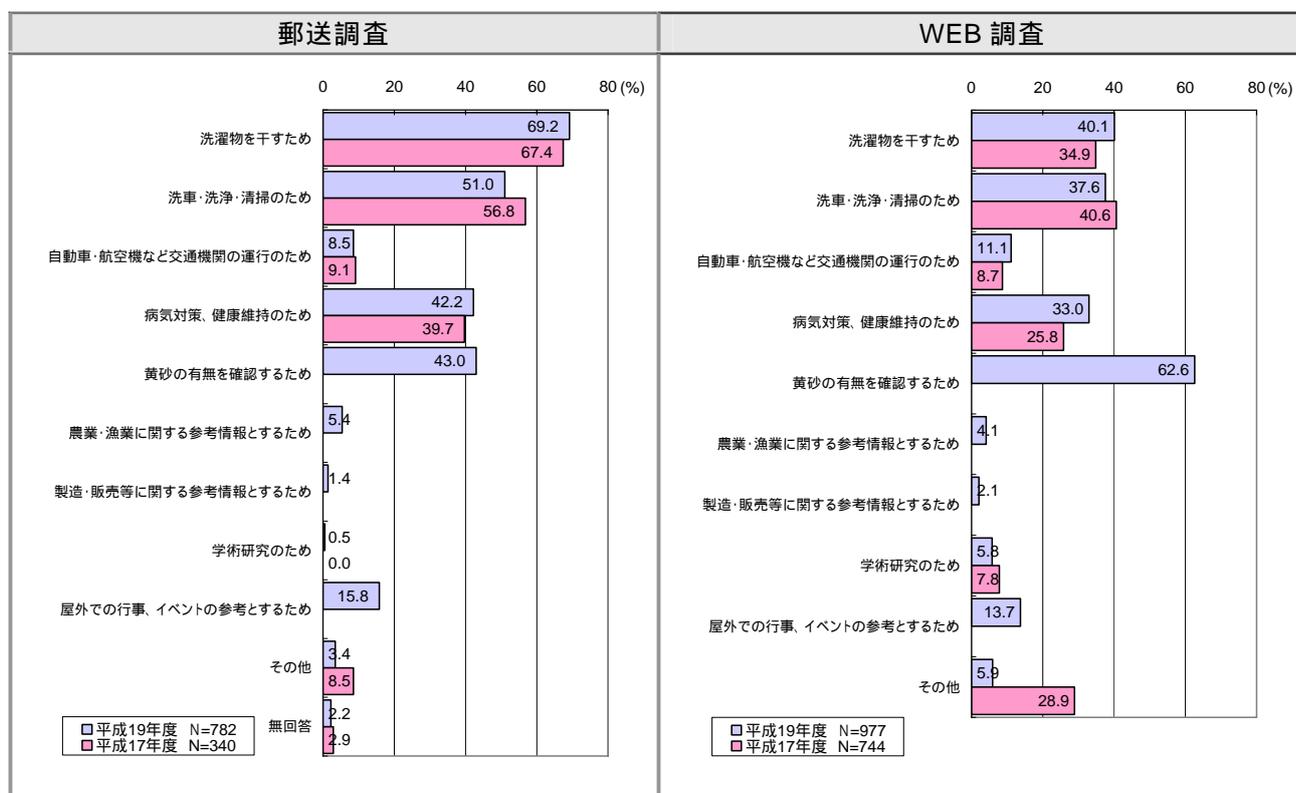
問 7-2 . 黄砂情報の利用目的は主に何ですか。

【郵送調査】

「洗濯物を干すため」(69.2%)との回答が最も高く、次いで「洗車・洗浄・清掃のため」(51.0%)「黄砂の有無を確認するため」(43.0%)、「病気対策、健康維持のため」(42.2%)などが高かった。

【WEB調査】

「黄砂の有無を確認するため」(62.6%)「洗濯物を干すため」(40.1%)「洗車・洗浄・清掃のため」(37.6%)「病気対策、健康維持のため」(33.0%)など高かった。



以下は、今回の調査で新たに追加した選択肢である。

- 「黄砂の有無を確認するため」
- 「農業・漁業に関する参考情報とするため」
- 「製造・販売等に関する参考情報とするため」
- 「屋外での行事、イベントの参考とするため」

(3) 満足度

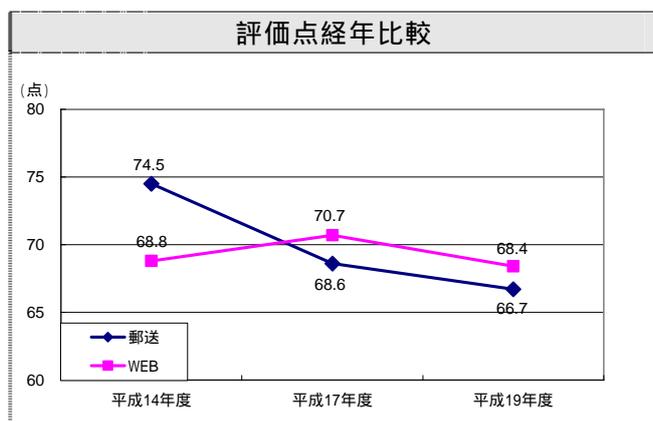
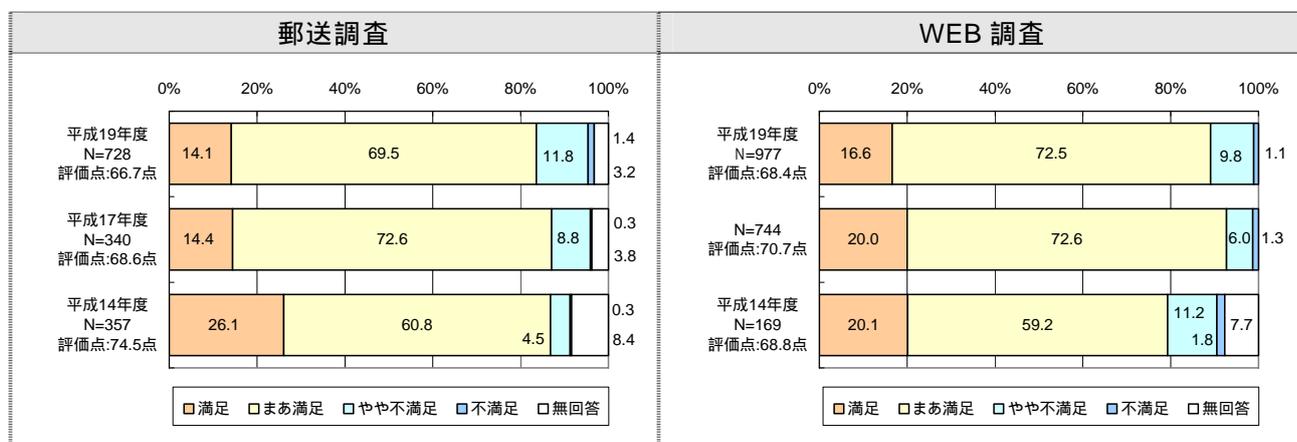
問 7-3 . 黄砂情報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」の合計は 83.6%に達したが、「まあ満足」(69.5%) が 7 割弱を占め圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。評価点は 66.7 点だが、過去 2 回の調査と比較すると、下降傾向にある。

【WEB 調査】

「満足」「まあ満足」の合計(89.1%) は 9 割弱に達したが、「まあ満足」(72.5%) が 7 割強と圧倒的で、評価点は 68.4 点と高い。評価点を経年で比較すると、平成 17 年度調査で上昇がみられたが、今回調査では、平成 14 年度調査の水準に戻っている。



(4) 不満に感じること(複数回答)

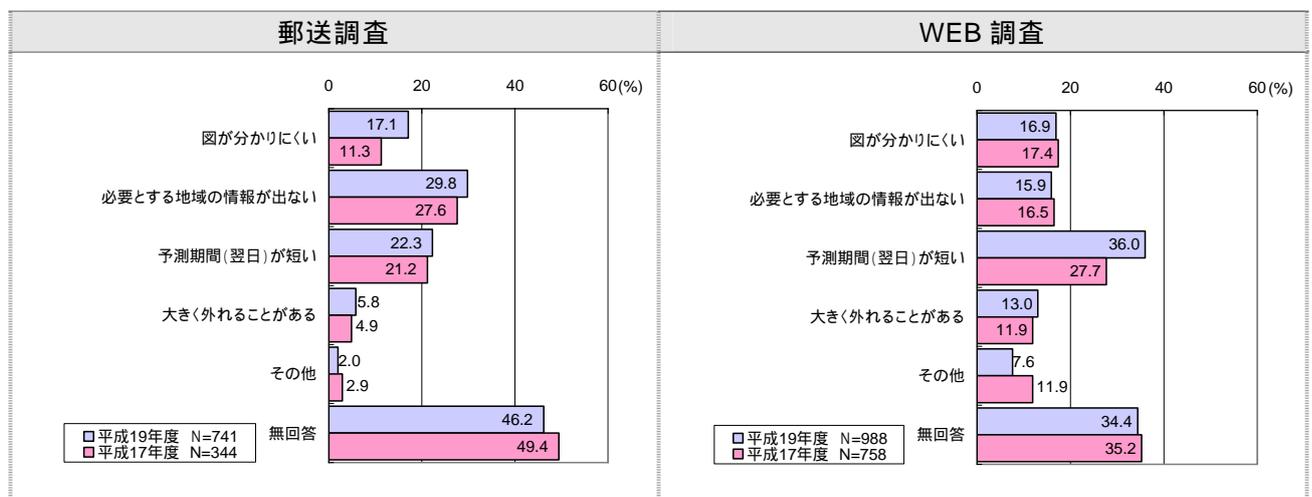
問 7-4. 黄砂情報について不満に感じるがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください。

【郵送調査】

「必要とする地域の情報が出ない」との回答(29.8%)が最も高く3割弱、次いで「予測期間(翌日)が短い」(22.3%)、「図がわかりにくい」(17.1%)の順であった。

【WEB調査】

郵送調査と異なり、「予測期間(翌日)が短い」(36.0%)が3割台半ばで、8ポイント上昇している。



8. 紫外線情報について

(1) 利用度

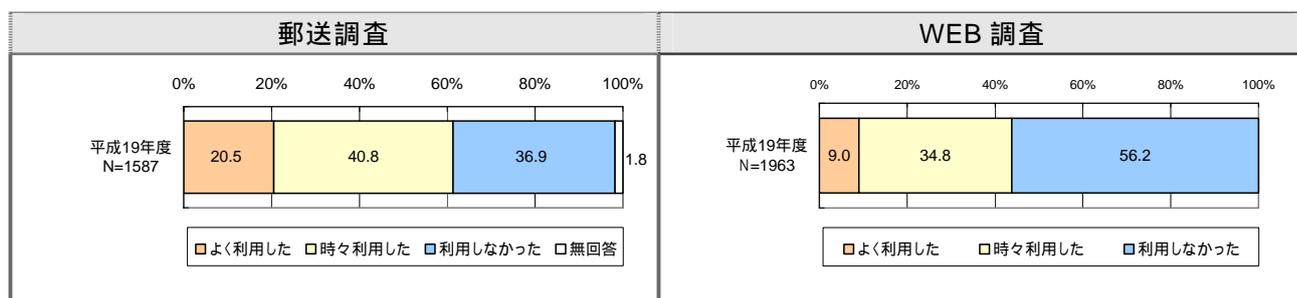
問 8-1. この夏、紫外線情報をどの程度利用しましたか。

【郵送調査】

「よく利用した」「時々利用した」の合計（61.3%）は6割強であった。

【WEB調査】

「よく利用した」「時々利用した」の合計（43.8%）は4割強と、郵送調査と比べ、18ポイント低い。



(1-1) 利用しない理由

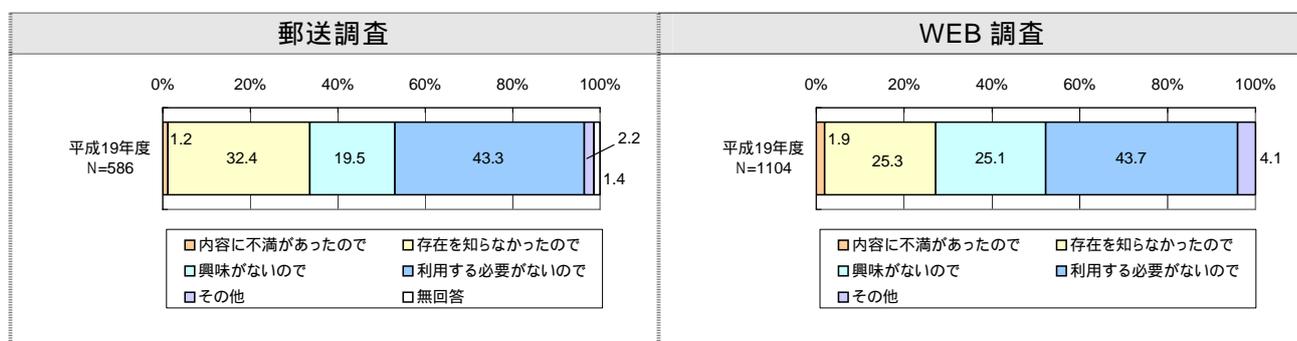
付問 8-1. 利用しなかった理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要がないので」との回答（43.3%）が最も高く4割強を占めた。次いで、「存在を知らなかったので」（32.4%）、「興味が無いので」（19.5%）の順であった。

【WEB調査】

「利用する必要がないので」との回答（43.7%）が最も高く4割強を占めた。次いで、「存在を知らなかったので」（25.3%）、「興味が無いので」（25.1%）の順であった。



(2) 利用目的 (複数回答)

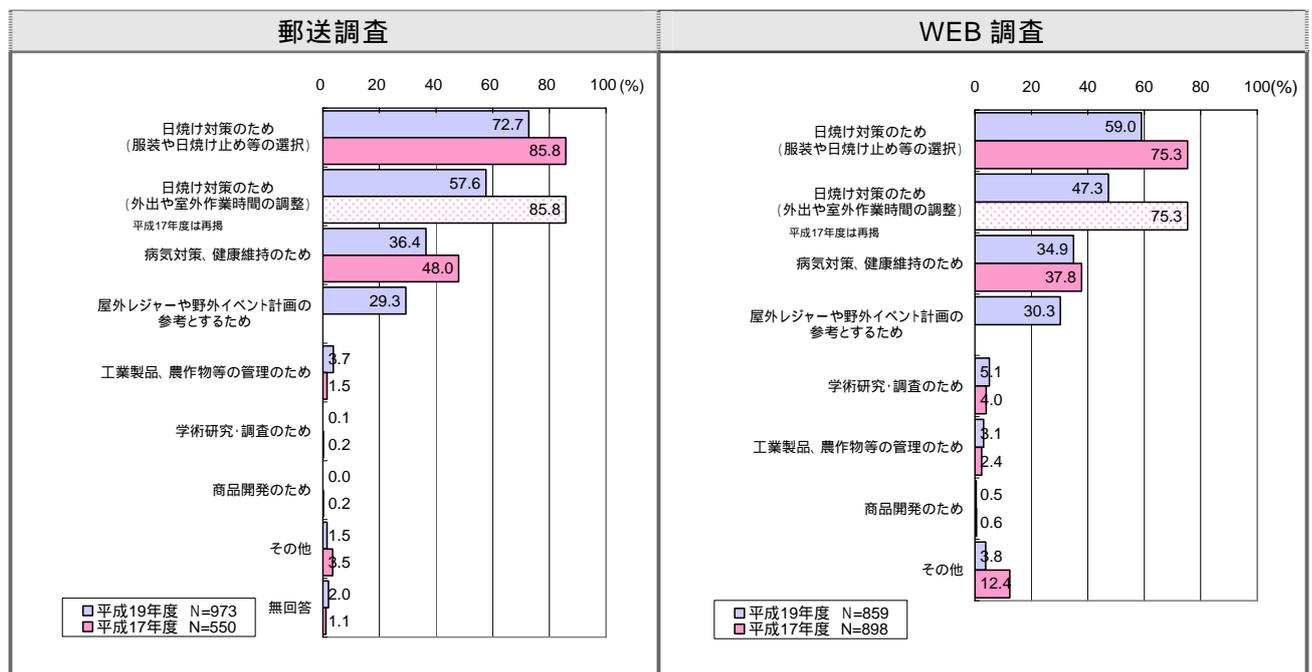
問 8-2 . 紫外線情報は主にどのような目的で利用されていますか。

【郵送調査】

「日焼け対策のため (服装や日焼け止め等の選択)」(72.7%)、「日焼け対策のため (外出や室外作業時間の調整)」(57.6%)、「病気対策、健康維持のため」(36.4%)などの回答が高かった。

【WEB調査】

「日焼け対策のため (服装や日焼け止め等の選択)」(59.0%)、「日焼け対策のため (外出や室外作業時間の調整)」(47.3%)、「病気対策、健康維持のため」(34.9%)などの回答が高かった。



以下は、今回の調査で新たに追加した選択肢である。
「屋外レジャーや野外イベント計画の参考とするため」

(3) 満足度

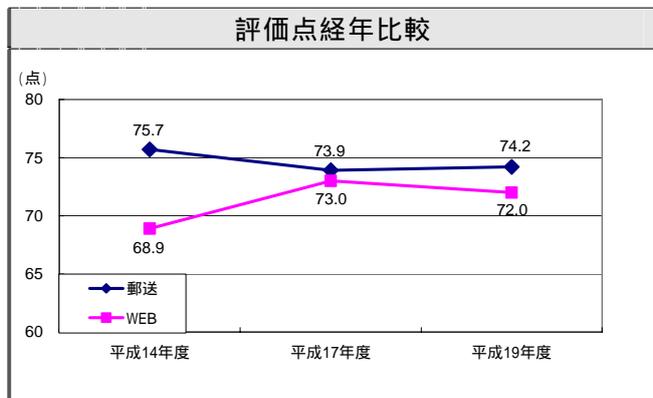
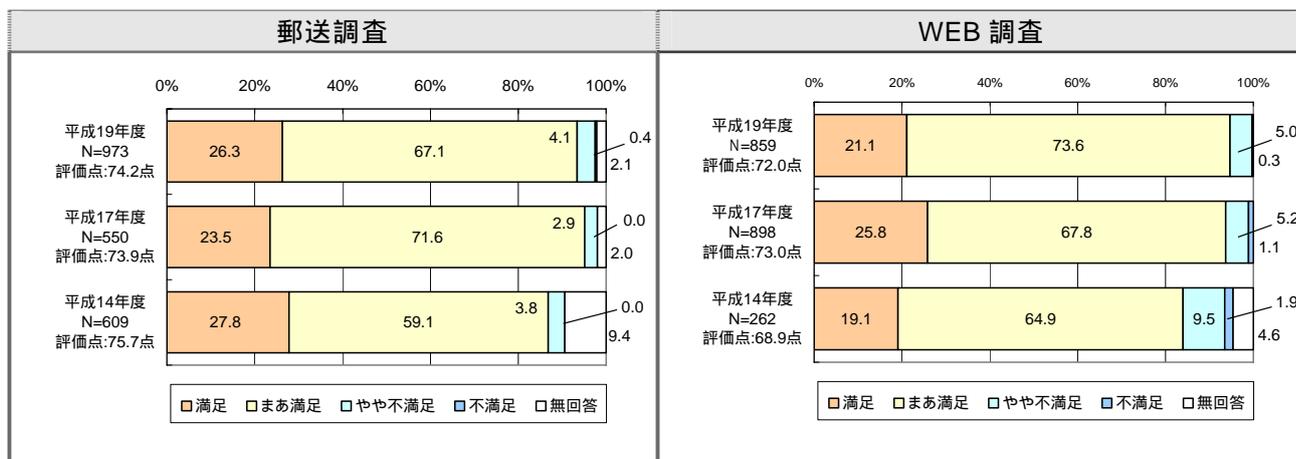
問 8-3 . 紫外線情報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」の合計（93.4%）は9割強を占めた。評価点は74.2点と高い。評価点を経年で比較すると、ほぼ横ばいである。

【WEB調査】

郵送調査とほぼ同様の傾向がみられた。評価点を経年で比較すると、平成17年度調査で上昇がみられ、今回調査では横ばいであった。



(4) 不満に感じること(複数回答)

問 8-4. 紫外線情報について不満に感じるがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください。

【郵送調査】

「必要とする地域の情報が出ない」との回答(16.8%)が最も高く、次いで「図が分かりにくい」(15.2%)、「予測期間(翌日)が短い」(12.3%)の順であった。

【WEB調査】

郵送調査と異なり、「予測期間(翌日)が短い」(24.3%)が最も高く、次いで「図が分かりにくい」(19.9%)、「必要とする地域の情報が出ない」(13.3%)の順であった。

